

# MOBILE SUIT RX-0 FULL ARMOR UNICORN GUNDAM

"Ver.Ka"  
SPECIFICATION / MODEL NUMBER: RX-0 HEIGHT: 19.7-21.7m WEIGHT: 23.7t MATERIAL: GUNDARIUM ALLOY  
ARMAMENTS / 60mm VULCAN GUN×2 BEAM MAGNUM×2 HYPER BAZOOKA×2 TRIPLE MISSILE POD×2  
GRENADE LAUNCHER×2 HAND GRENADE×8 BEAM GATLING GUN×6 BEAM SABER×4 SHIELD×3 HYPER BEAM JAVELIN×2  
CONSTRUCTOR: ANAHEIM ELECTRONICS



## MOBILE SUIT RX-0 FULL ARMOR Gundam models Designed and produced by Ka UNICORN GUNDAM "Ver.Ka"

MG RX-0 FULL ARMOR UNICORN GUNDAM "Ver.Ka"

### Instruction making staff

- Produce/direction : KATOKI HAJIME
- Edition : ISHIWAKI TSUYOSHI(GUNDAM A)
- Edition/writing : MITARAI KOJI
- Design : SAITO DAISUKE
- Photo : HONDA KEIGO(ENTANIYA)
- Coloring : MATSUMOTO TAKASHI
- Marking : KONNO YUJI(JAM)
- Special thanks : FUKUI HARUTOSHI



FULL PSYCHO-FRAME PROTOTYPE MOBILE SUIT  
U.C.0096 PROJECT UC/La+



# MOBILE SUITS FULL ARMOR UNICORN GUNDAM "Ver.Ka"

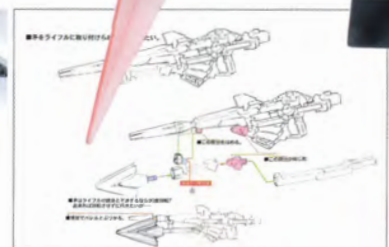


↑前腕に装着されたハイパー・ビーム・ジャベリンは、収納状態から展開させてビームを発振。サイコフレーム部はスライドギミックを内蔵している

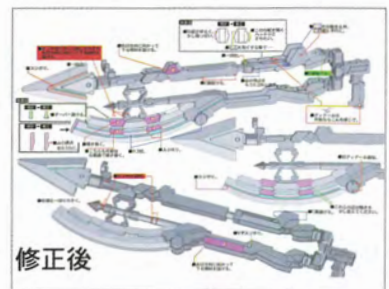


↑ニュータイプ能力を開花させたバナーの影響を受け、サイコフレームの発光現象もエメラルド・グリーンに変化。キットでは新開発のクリア素材を採用し、再現される

⇒シールドとハイパー・ビーム・ジャベリン(二つ折り形態)、ビーム・ガトリング・ガンは積層装着させて、両腕に取り付けられる



↑ビーム・マグナムへの取り付け案。ビーム・マグナムの形状に合わせ、結合部分が調整され、バレルに干渉しないよう、先端は90度回転する



↑ハンド・グレネードはふくらみ側面にそれぞれ2基1セットを装着。デストロイモードへも支障なく変形させることができる

↑ジャベリンの柄には取り外しできるグリップが付く。グリップはマニピュレーターに握らせることができ、取り付け位置を変えることも可能

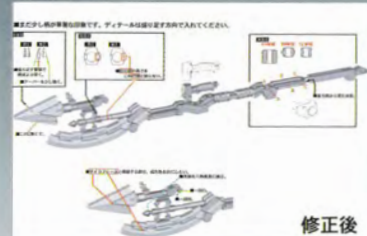
修正後



↑ハイパー・バズーカはマウント・フレームと化し、大小の武器が上方の空間を埋め尽くしている。武器はすべて着脱できる

↑柄を二つ折りにしたショート・ジャベリン形態の面構。ここでは主にディテールの修正案、凹ディテールの追加や、傾斜の調整が断面図も一部用いて提案されている

# MG RX-0 FULL ARMOR UNICORN GUNDAM "Ver.Ka"



↑↑↑ハイパー・ビーム・ジャベリンの全体図。柄はいくつものギミックをブロックごとに内蔵。華やかな印象をなくすためディテールが追加されている



↑↑↑ハイパー・バズーカと大型スラシャーを装着するための追加フレームは、バックパックをガッチリとホールド。アクションベース1(別売り)を使用することで、より安定して飾ることができる



↑↑↑後方へ伸びる大型スラシャーを支える、スラシャー・サポート・スタンド。スタンドは分割させて、94式ベースジャバーをディスプレイできる

↑↑↑ハイパー・ビーム・ジャベリンは収納形態のほか、ショート・ジャベリンに変形、ビーム・マグナムに取り付けられるなど、ギミックも豊富

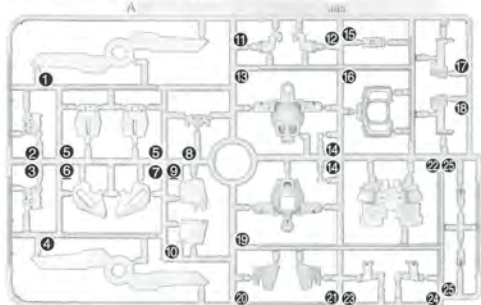


↑↑↑ビーム・マグナム×2、ハイパー・バズーカ×2、ビーム・ガトリング・ガン×6、シールド×3、ハンド・グレネード・ユニット×8、3連装ミサイル・ランチャー×2、グレネード・ランチャー×2、ビーム・サーベル×4、ハイパー・ビーム・ジャベリン×2

# パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

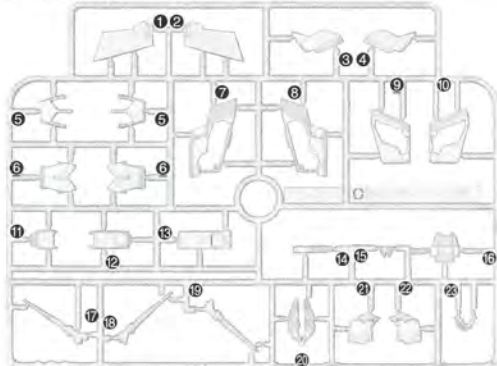
Aパーツ (ABS樹脂: ABS)



Bパーツ (ABS樹脂: ABS)



Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



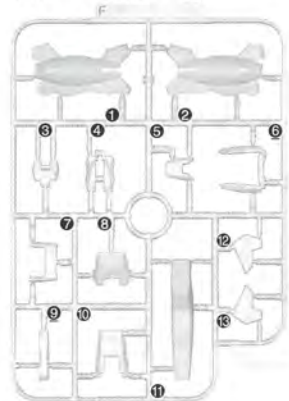
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



Eパーツ (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



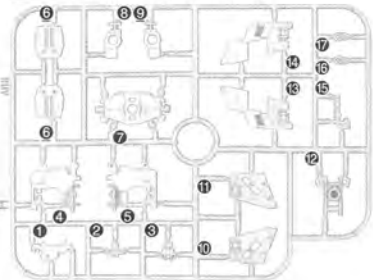
Fパーツ (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



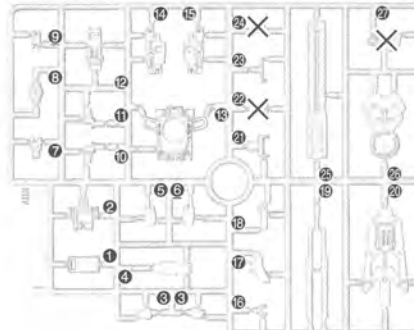
Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



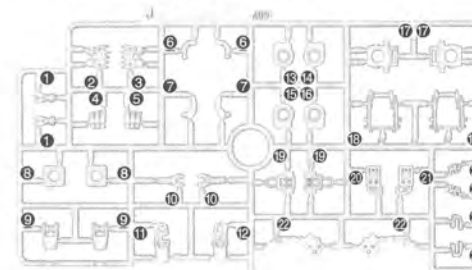
Hパーツ (ABS樹脂: ABS)



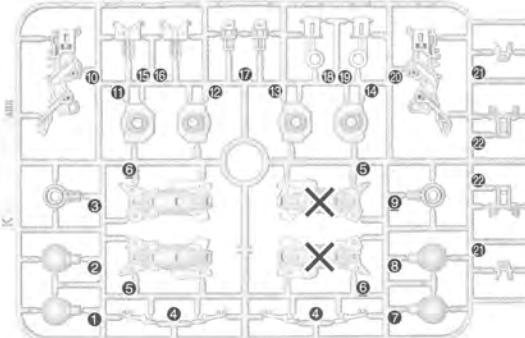
Iパーツ (ABS樹脂: ABS)



Jパーツ (ABS樹脂: ABS)



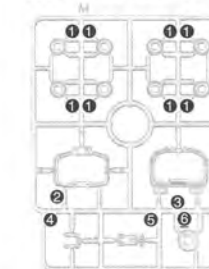
Kパーツ (ABS樹脂: ABS)



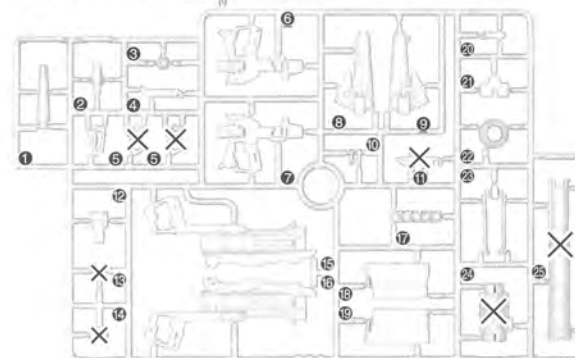
Lパーツ (ABS樹脂: ABS)



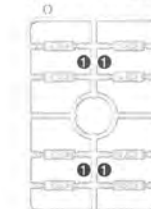
Mパーツ  
(スチロール樹脂: PS)



Nパーツ (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



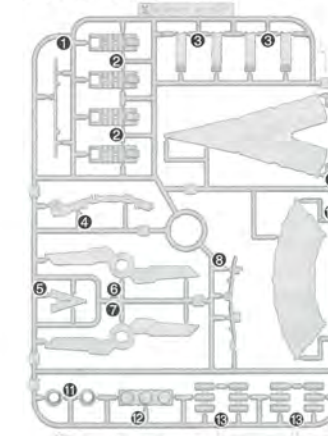
Oパーツ  
(スチロール樹脂: PS)



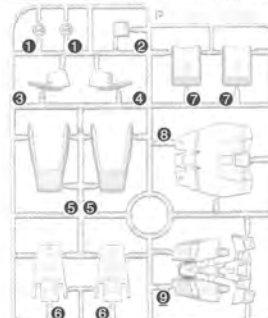
Oパーツ  
(スチロール樹脂: PS)



Xパーツ (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



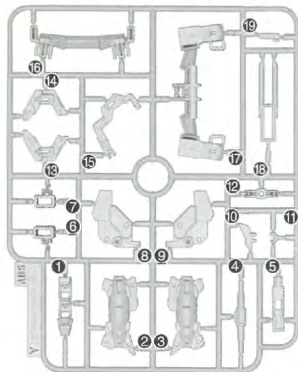
Pパーツ (スチロール樹脂: PS)



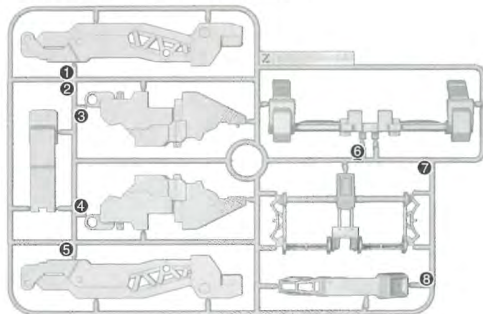
Qパーツ (×6)  
(スチロール樹脂: PS)



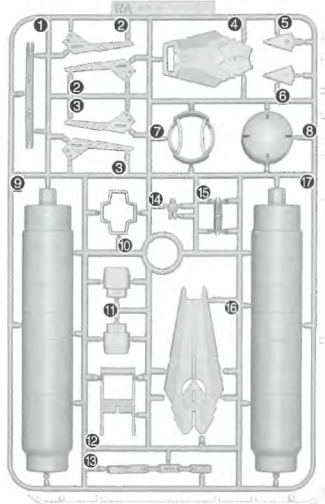
Yパーツ (ABS樹脂: ABS)



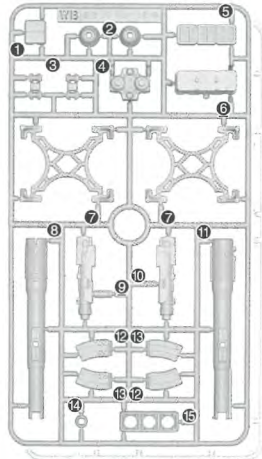
Zパーツ (スチロール樹脂: PS)



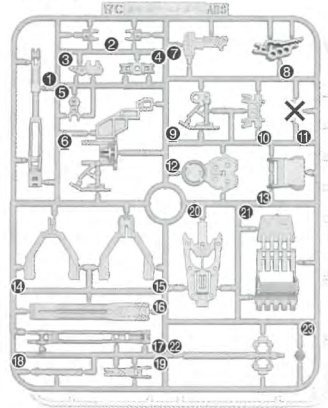
WAパーツ (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



WBパーツ (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



WCパーツ (×2)  
(ABS樹脂: ABS)



SB1パーツ (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



カラーシール.....1枚  
マーキングシール.....1枚  
ガンダムデカール.....1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

**注意**

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
  - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
  - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
  - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
  - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・塗料を塗るところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作り出す	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

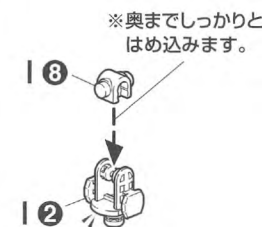
※この商品は変形を完全再現するため、部品点数が多くなっております。部品をきれいに切り取り、イラストを良く見て組み立ててください。また、ブロックごとに変形させて完成写真等を参考に組み上がりを確認することをおすすめします。

**1 BODY**



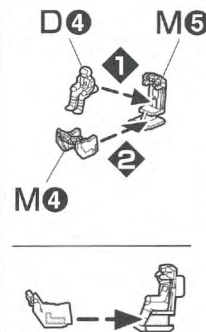
**1-1 BODY**

〔ボディの組立〕

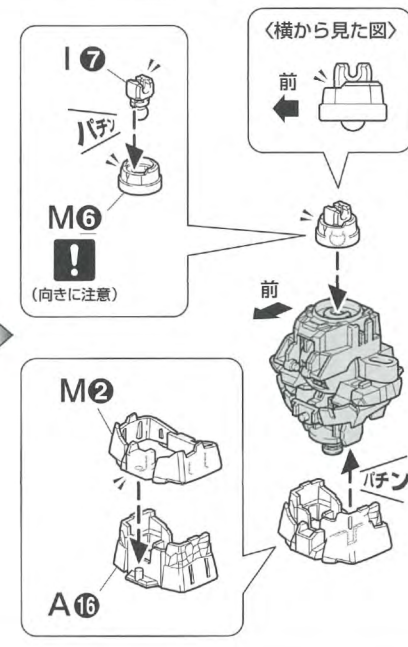
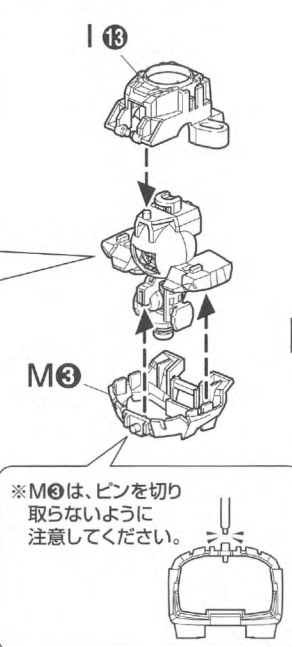
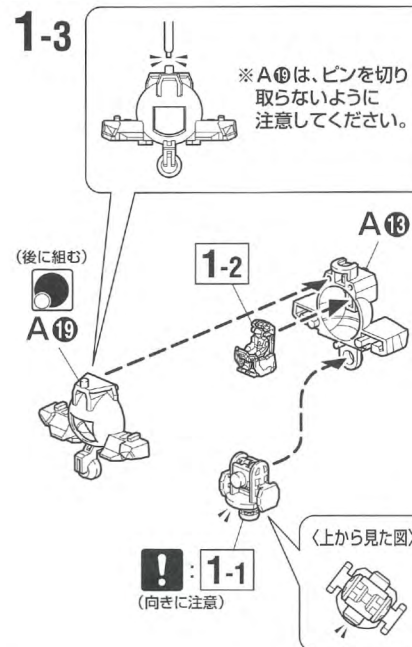


※忘れずに1-8を  
図の位置にして  
ください。

**1-2**



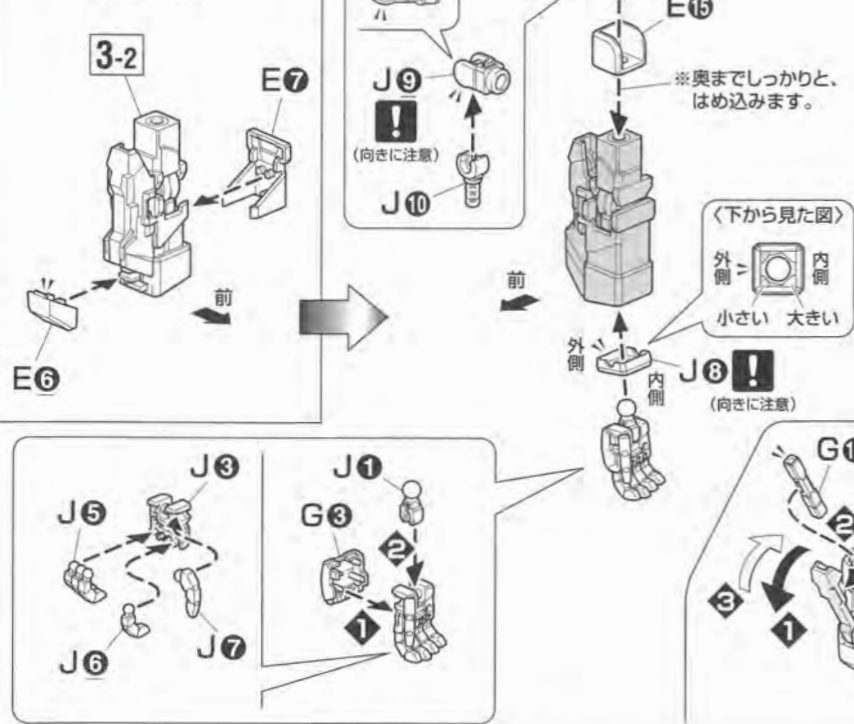
**1-3**





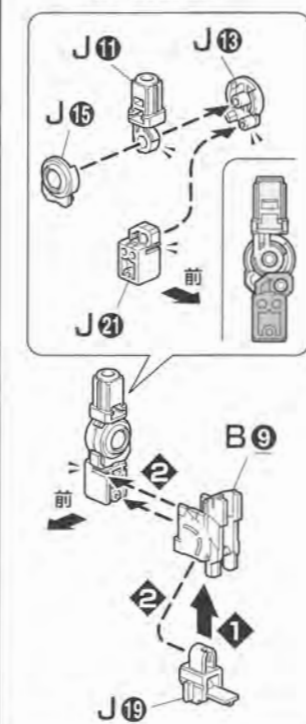
### 3-3 COMPLETION

(右腕の完成)

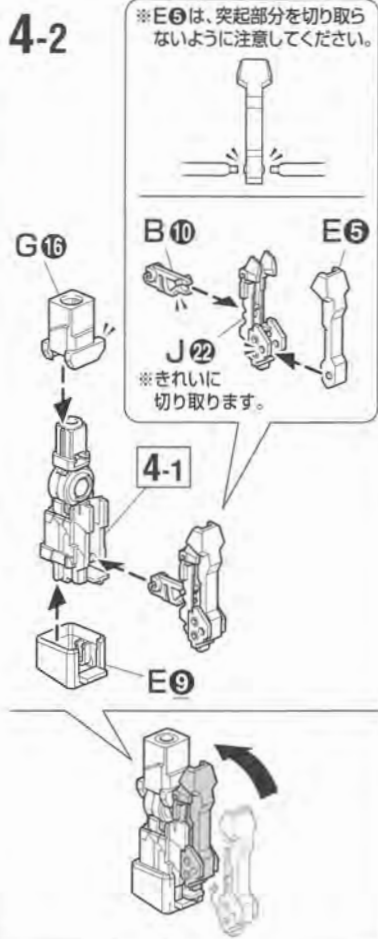


### 4-1 LEFT ARM

(左腕の組立)

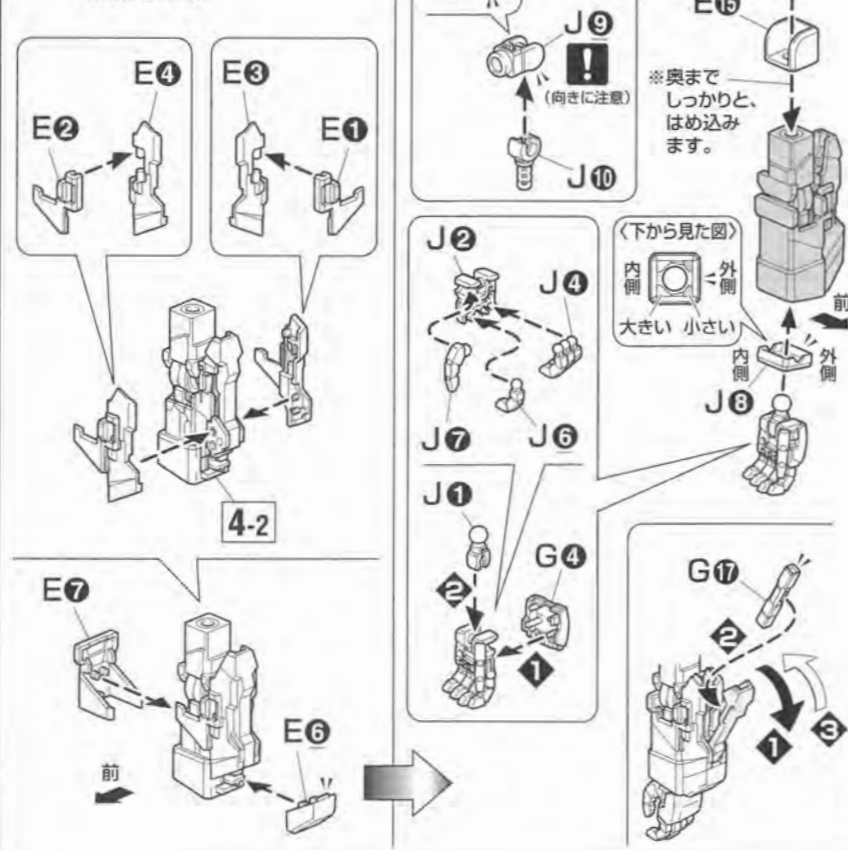


### 4-2



### 4-3 COMPLETION

(左腕の完成)

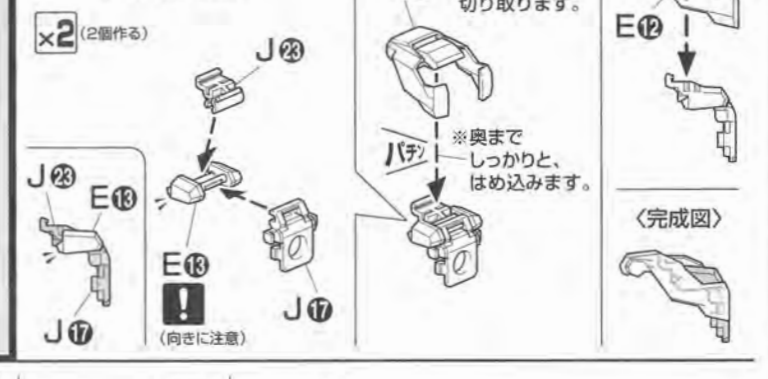


### 5 UPPER BODY



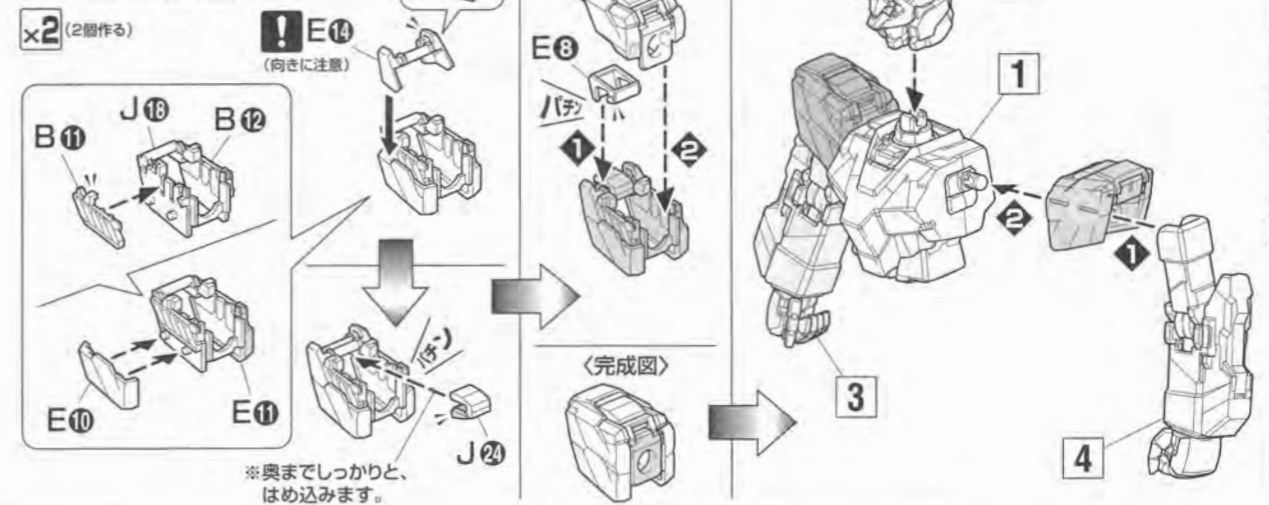
### 5-1 UPPER BODY

(上半身の組立)



### 5-2 COMPLETION

(上半身の完成)

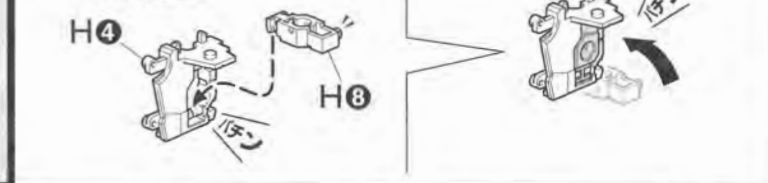


### 6 WAIST

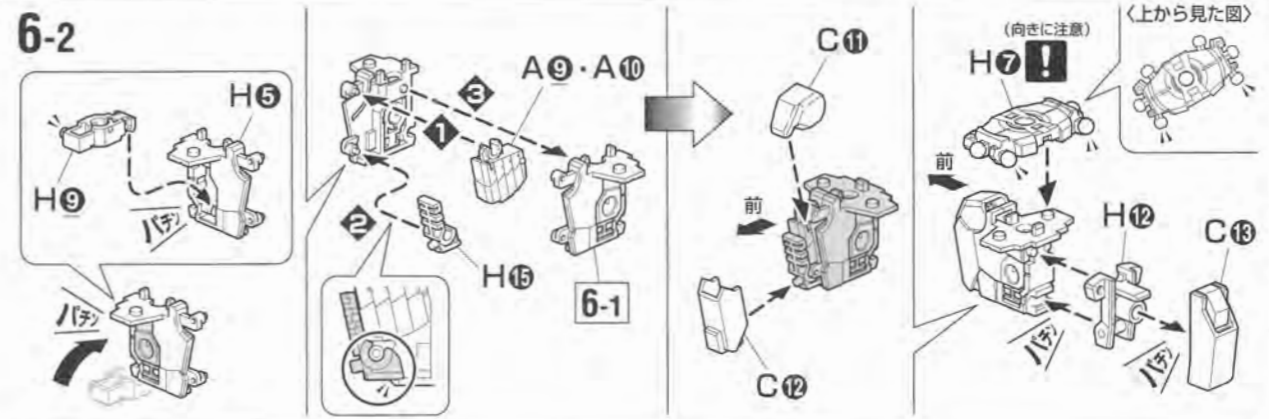


### 6-1 WAIST

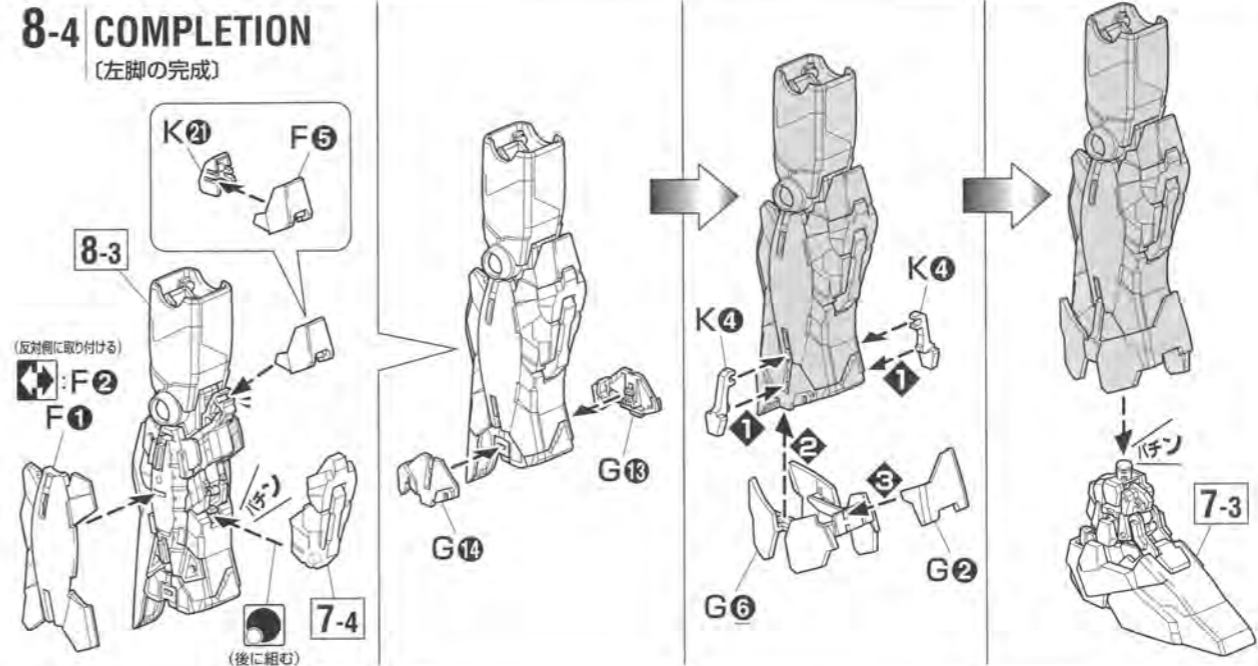
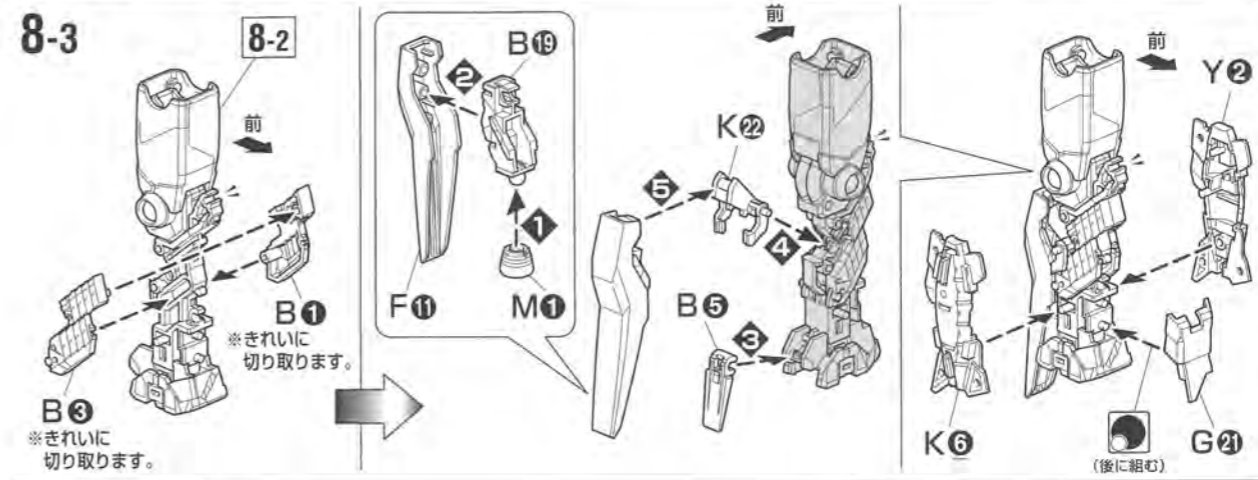
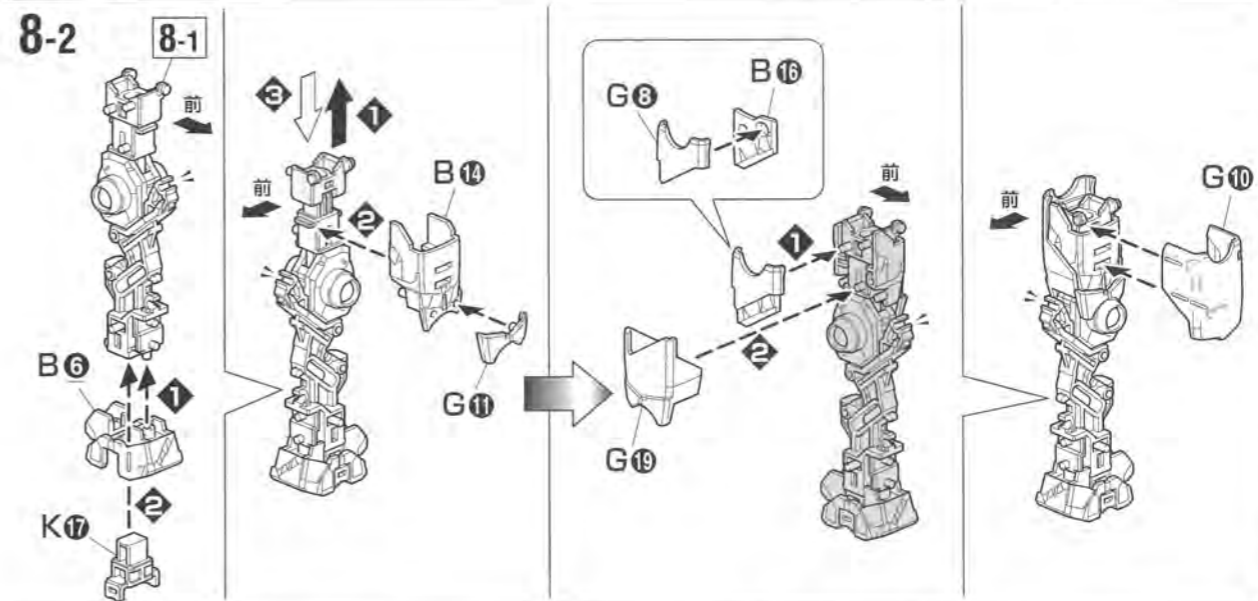
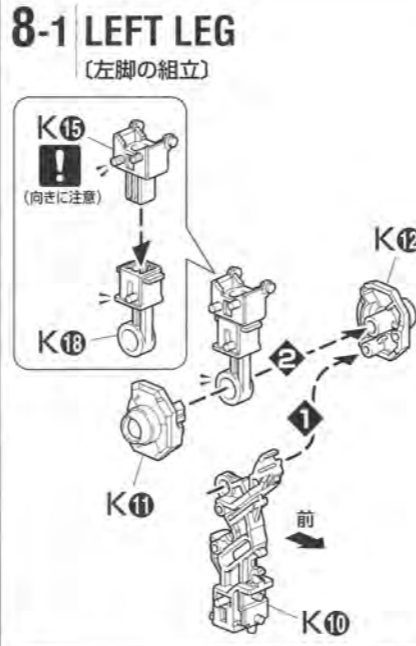
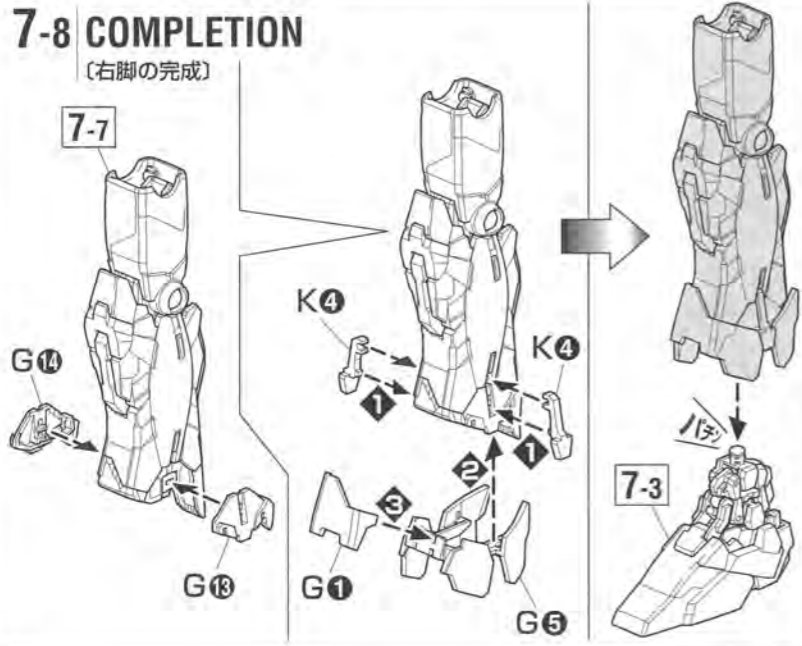
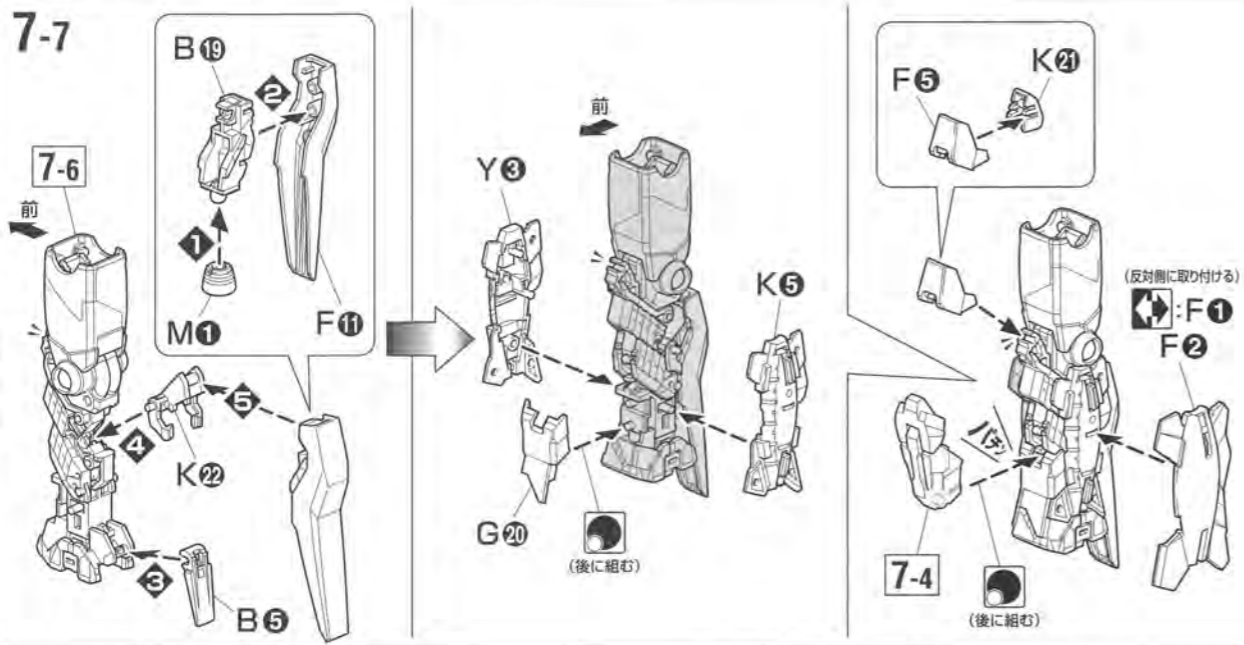
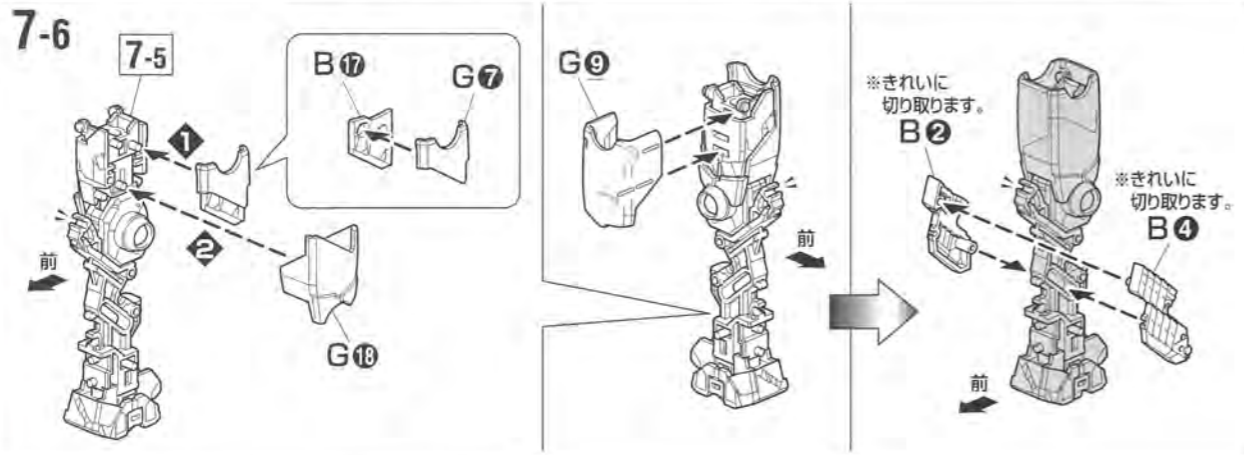
(腰の組立)



### 6-2





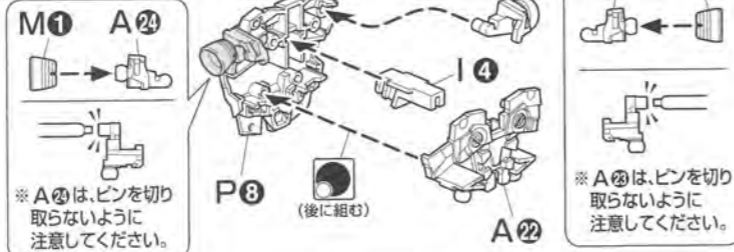




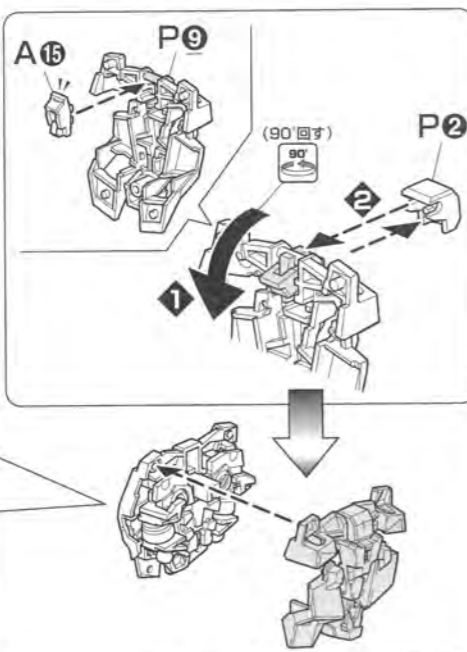
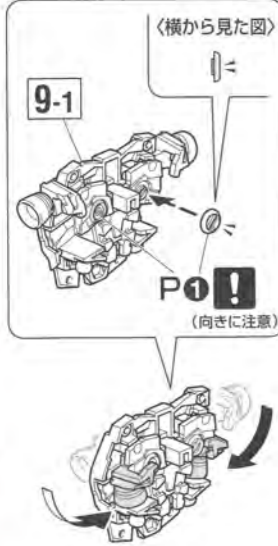
# 9 BACK PACK



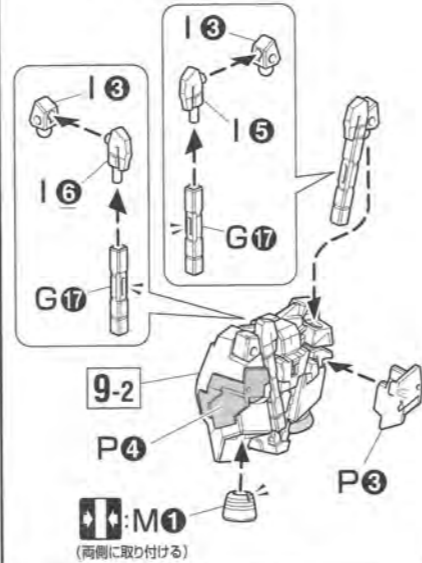
## 9-1 BACK PACK (バックパックの組立)



## 9-2



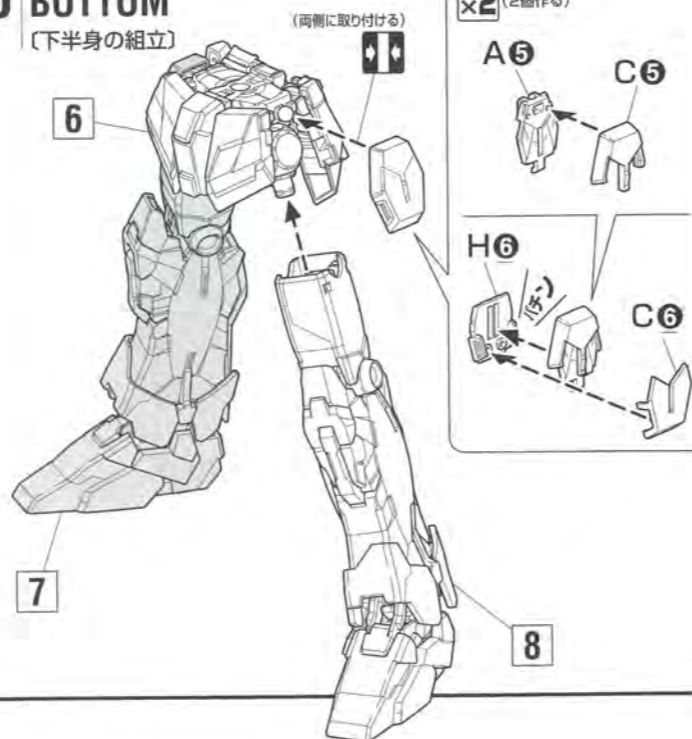
## 9-3 COMPLETION (バックパックの完成)



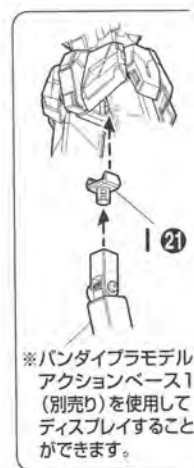
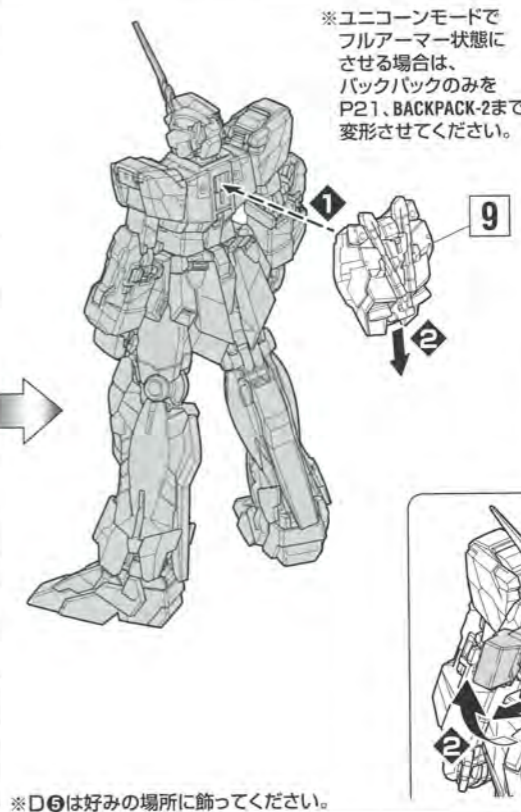
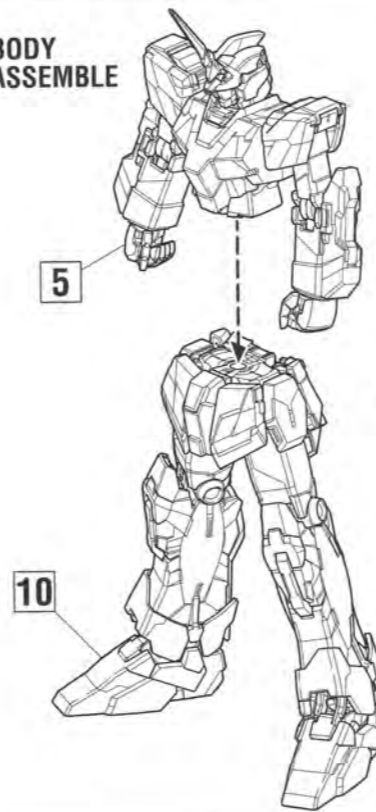
# 10 BOTTOM ASSEMBLE



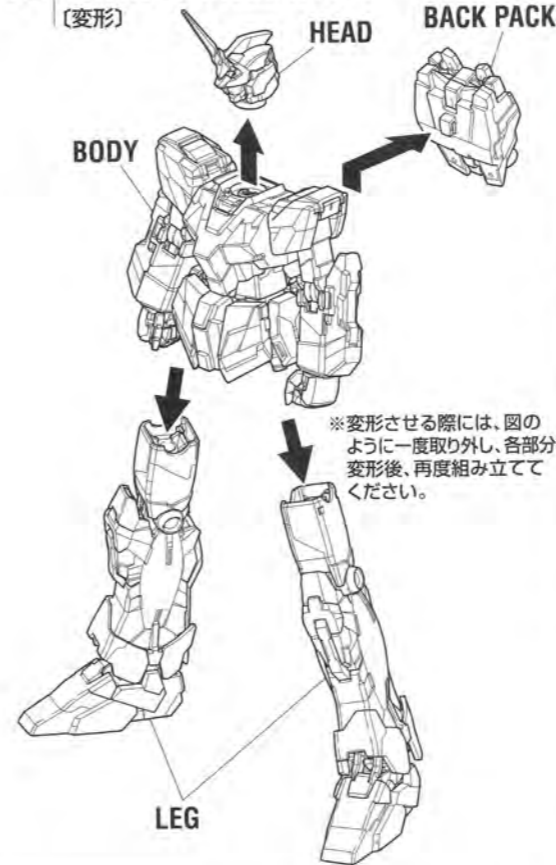
## 10 BOTTOM (下半身の組立)



# 11 BODY ASSEMBLE

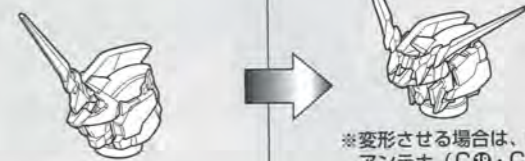


# 12 TRANSFORMATION (変形)

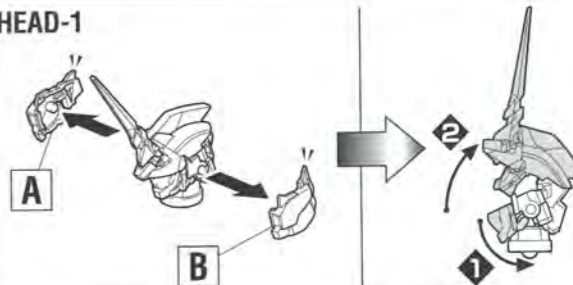


※イラストは、変形説明のため、一部簡略化しています。

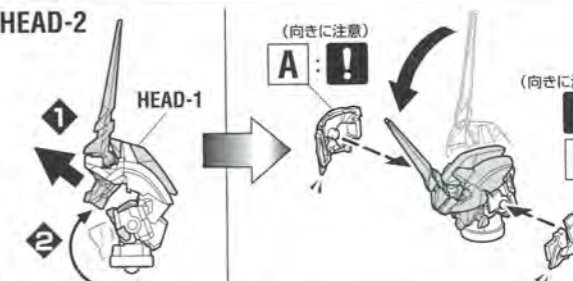
## HEAD



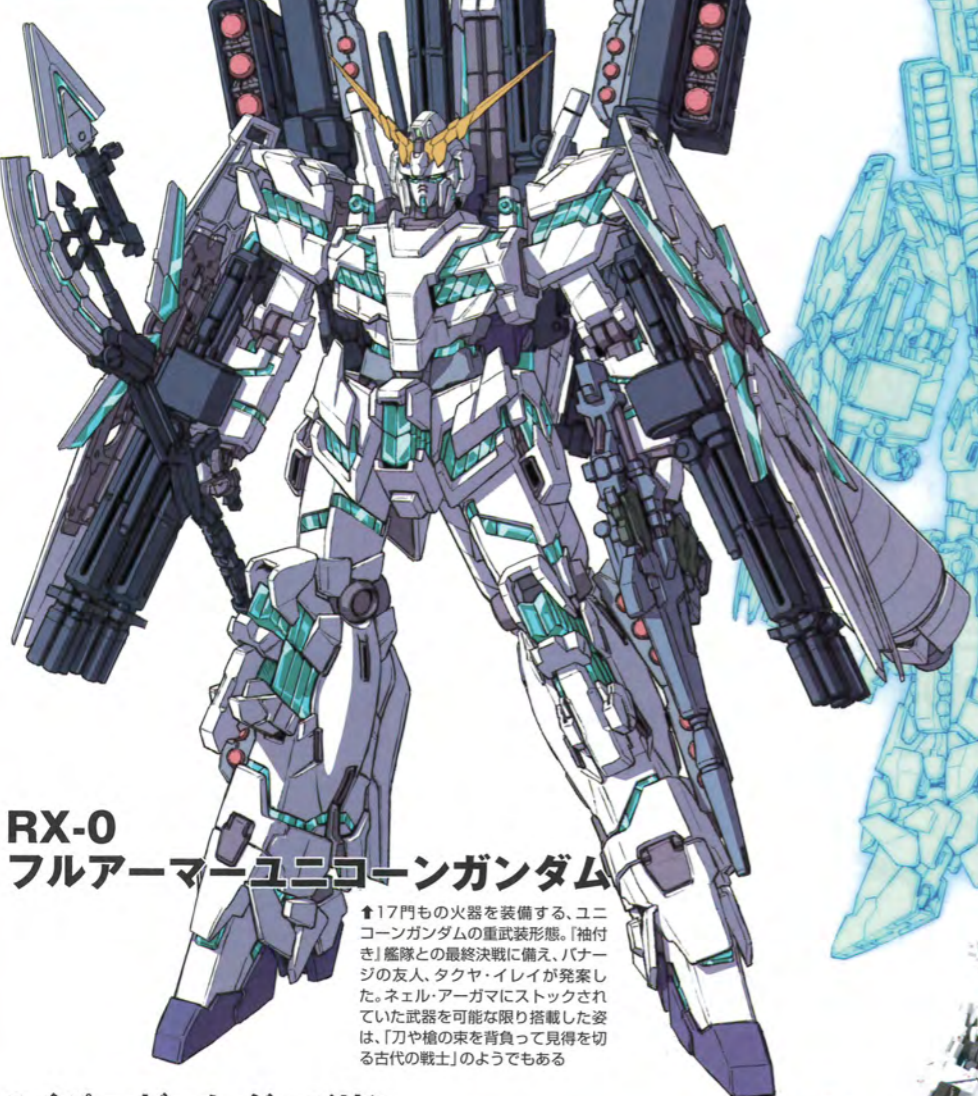
## HEAD-1



## HEAD-2



# MOBILE SUIT RX-0 FULL ARMOR UNICORN GUNDAM "Ver.Ka"

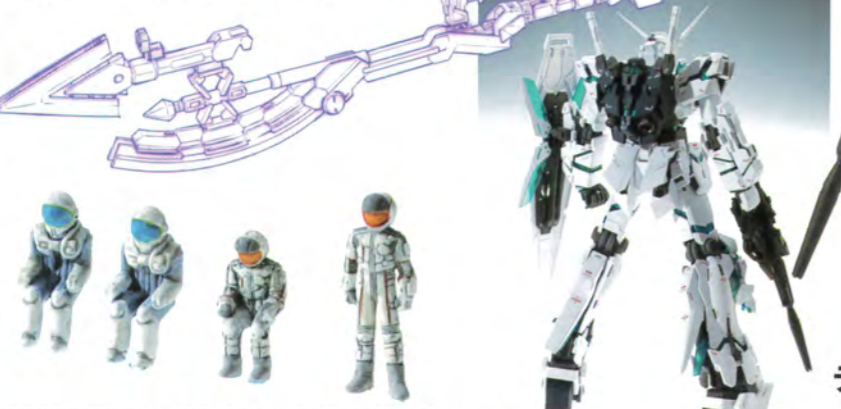


## RX-0 フルアーマーユニコーンガンダム

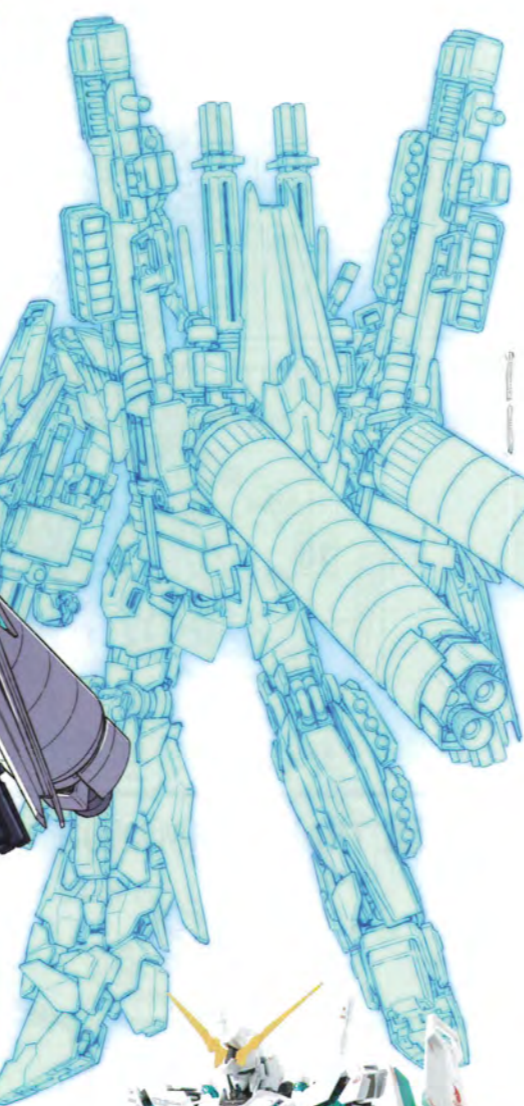
↑17門もの火器を装備する、ユニコーンガンダムの重武装形態。「袖付き」艦隊との最終決戦に備え、パナージの友人、タクヤ・イレイが発案した。ネエル・アーガマにストックされていた武器を可能な限り搭載した姿は、「刀や槍の束を背負って見得を切る古代の戦士」のようでもある

## ハイパー・ビーム・ジャベリン

↓MSの全高ほどもあるビーム系大型新撃兵器。ビーム共振器は、ジャベリン型とアックス型の2種があり、ビーム・マグナムへの装着や収納形態への変形など、用途に応じて千変万化する



↑パイロット・スーツ姿のパナージは直立と座り姿の2種。加えてベースジャバのパイロット2名のフィギュアが付属する

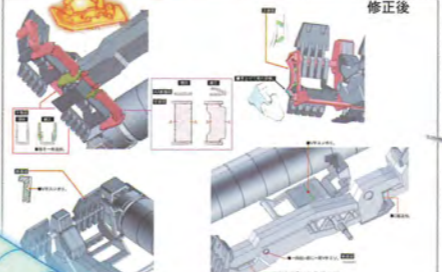
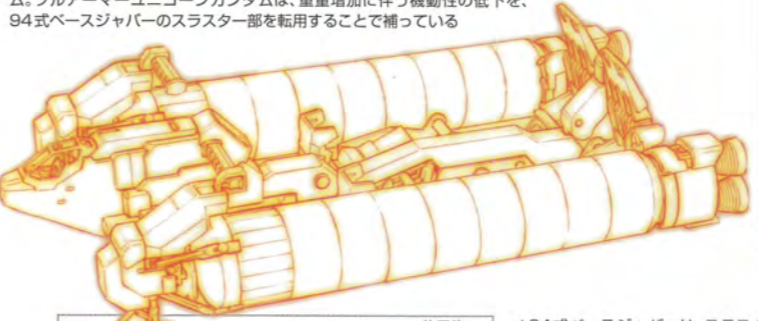


## デストロイモード

↑フルアーマーとしての装備を外した、デストロイモード時のユニコーンガンダム。ユニコーンモードへの「変身」も可能

## 94式ベースジャバー

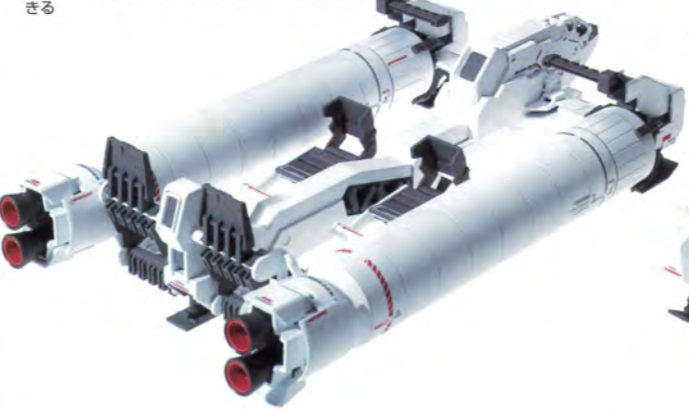
↓U.C.0096年時、主に地球連邦軍で使用されているサブ・フライト・システム。フルアーマーユニコーンガンダムは、重量増加に伴う機動性の低下を、94式ベースジャバーのスラスター部を転用することで補っている



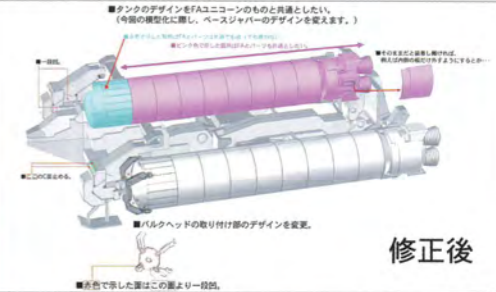
↑94式ベースジャバーとMSの接触部分となるステップの画稿。後方のステップは、MSの足が入るよう肉抜きがされている

↑ユニコーンガンダムを94式ベースジャバーに乗せることもできる。またかかのようにヒザと足をステップに乗せて、両サイドにあるグリップを握らせる

↓船艦用のランディングギアは、前部に2脚、中央部後部に各1脚装備。ヒザと足を乗せるステップは可動するので、姿勢に合わせて調節できる



↑94式ベースジャバーの複座型コックピットブロックのキャノピーは、上部装甲ごと取り外せる。コックピット内部も再現され、機体各部にもマーキングが入る



## 修正後

↑大型スラスター部のデザインはフルアーマーユニコーンと共通化されている。メインフレームとの接続部分が確認できる



↓白い躯体は、MS1機の輸送を目的としているため武装もなく、機動性重視で余分な装甲が取り除かれている

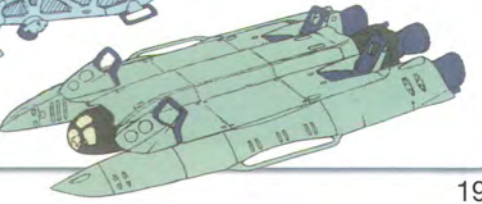
## サブ・フライト・システム

### ●ベースジャバー

(「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」より)

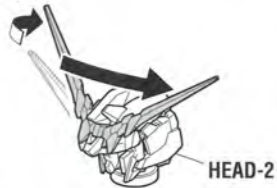


### ●シャクルズ



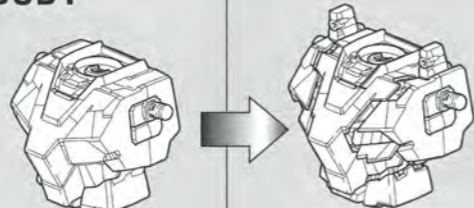
MSを母艦から作戦区域まで輸送する目的で開発されたのがサブ・フライト・システム(S.F.S)である。大気圏内でも使用されるS.F.Sは、MSの行動範囲を大幅に広げることとなった。オートパイロットでの運用、MS側からの操縦も可能である

HEAD-3



※アンテナを開く際は、破損しないよう注意して開いてください。

BODY

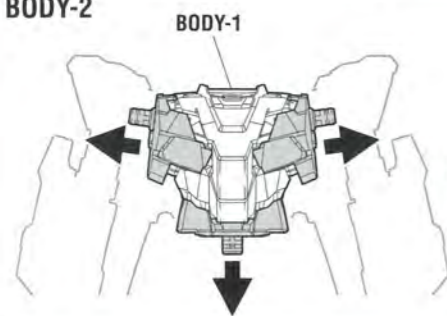


BODY-1

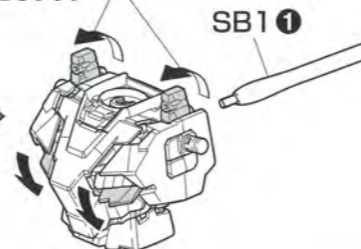


※両腕と腰部は取り付けのまま変形させてください。

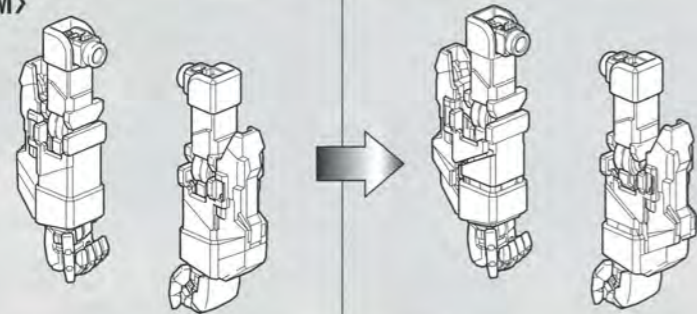
BODY-2



※肩のセンサーは、SB1①を使用して起こします。

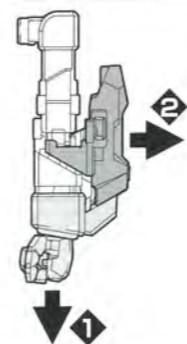


<ARM>

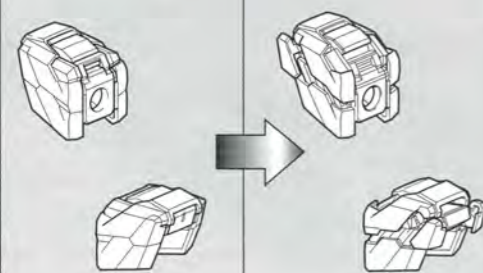


BODY-3

(両腕動かす)

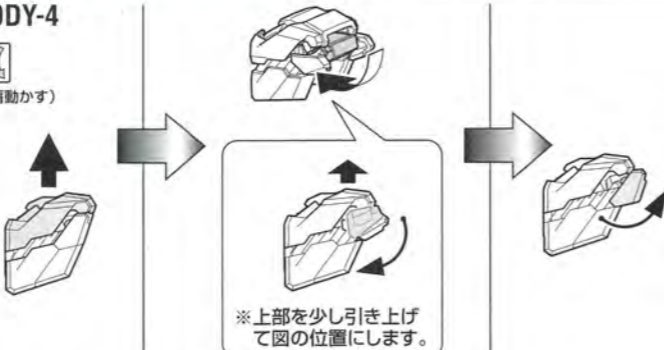


<SHOULDER>

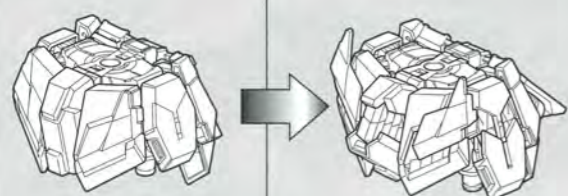


BODY-4

(両肩動かす)

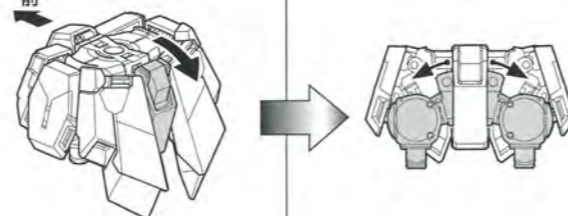


<WAIST>



BODY-5

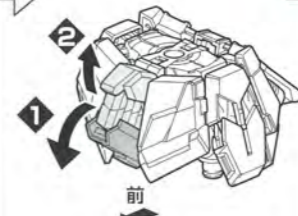
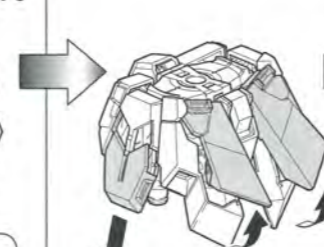
前



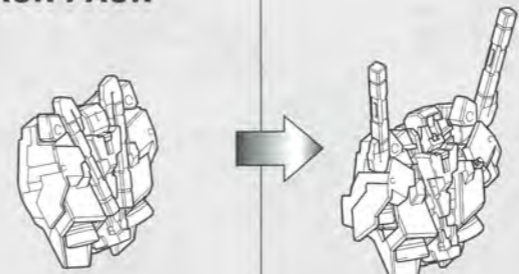
BODY-6



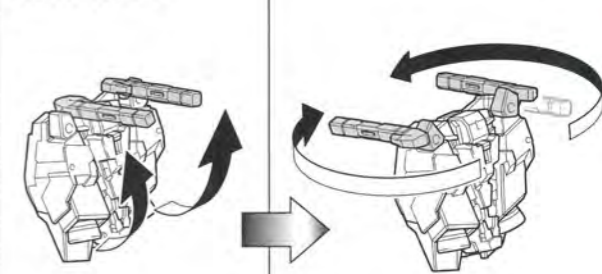
BODY-5



BACK PACK



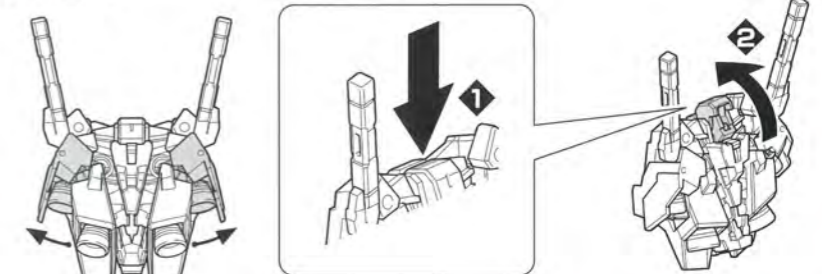
BACK PACK-1



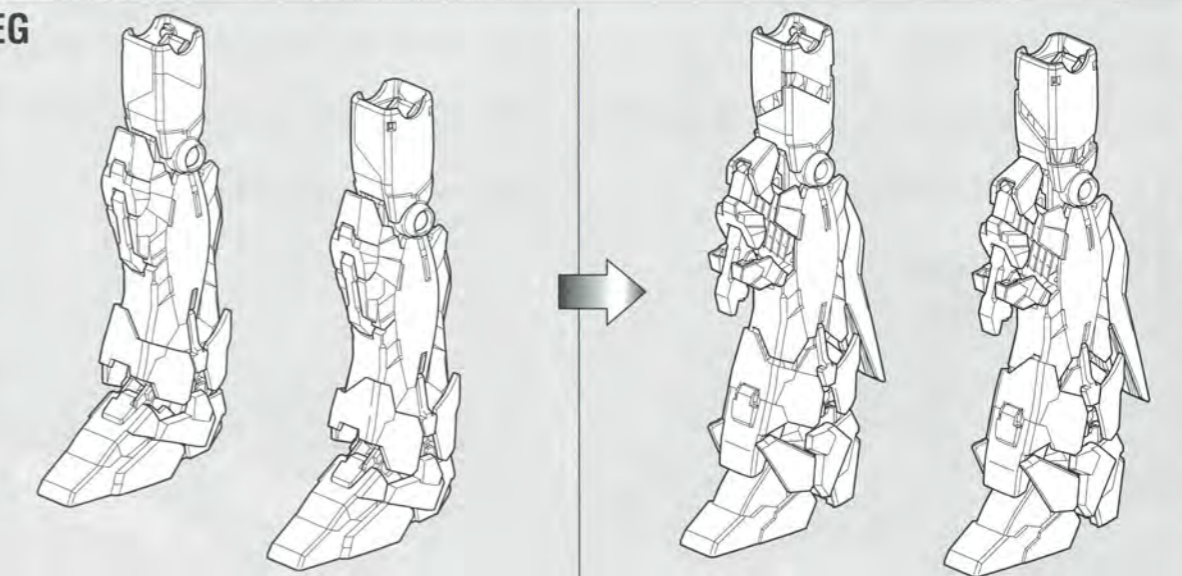
BACK PACK-2



BACK PACK-3



LEG



### LEG-1

(両脚動かす)

※図の位置まで、引き出します。

### LEG-2

(両脚動かす)

※図の位置まで、引き出します。

<b>13</b> BEAM MAGNUM	<b>17</b> SHIELD-A	<b>19</b> HYPER BEAM JAVELIN	<b>23</b> BOOSTER
<b>14</b> HAND GRENADE	<b>18</b> SHIELD-B	<b>20</b> BEAM GATLING GUN-A	
<b>15</b> HYPER BAZOOKA(RIGHT)	<b>21</b> BEAM GATLING GUN-B		
<b>16</b> HYPER BAZOOKA(LEFT)			

フル・サイコ・フレームプロトタイプモビルスーツ

### 13-1 BEAM MAGNUM

(ビーム・マグナムの組立)

x2 (2個作る)

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※奥までしっかりと、はめ込みます。

### 13-2

x2 (2個作る)

※奥までしっかりと、はめ込みます。

※裏側から見た図

### 13-3

x2 (2個作る)

(5個組み付ける)

※きれいに切り取ります。

### 13-4 COMPLETION

(ビーム・マグナムの完成)

x2 (2個作る)

### 14 HAND GRENADE

(ハンド・グレナードの組立)

x8 (8個作る)

### 15-1 HYPER BAZOOKA

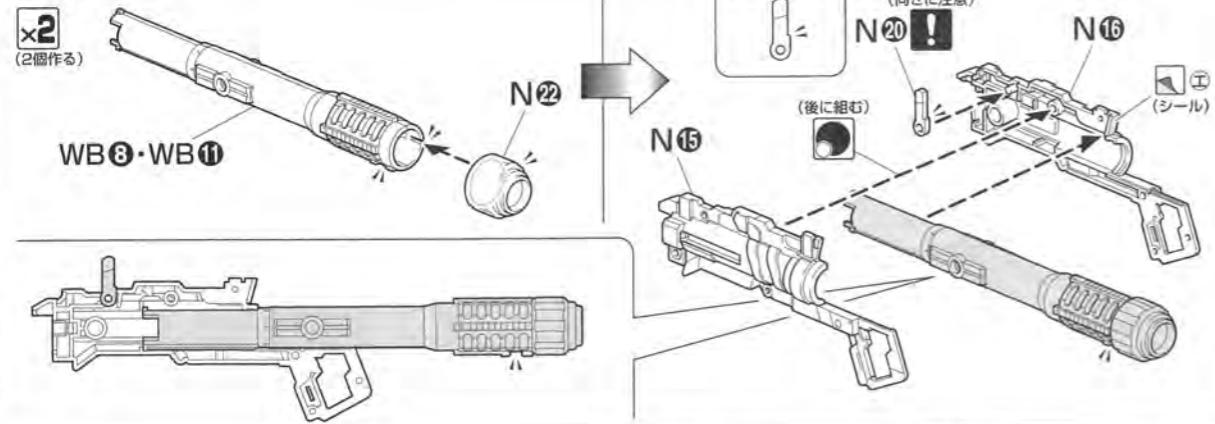
(ハイパー・バズーカの組立)

x2 (2個作る)

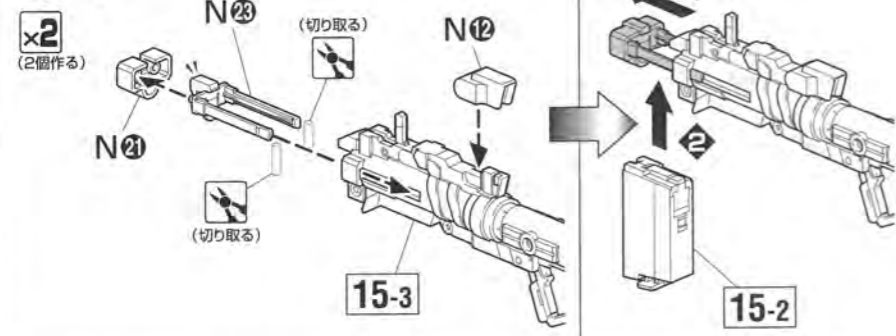
### 15-2

x2 (2個作る)

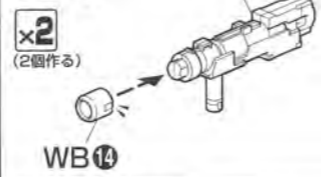
### 15-3



### 15-4



### 15-5

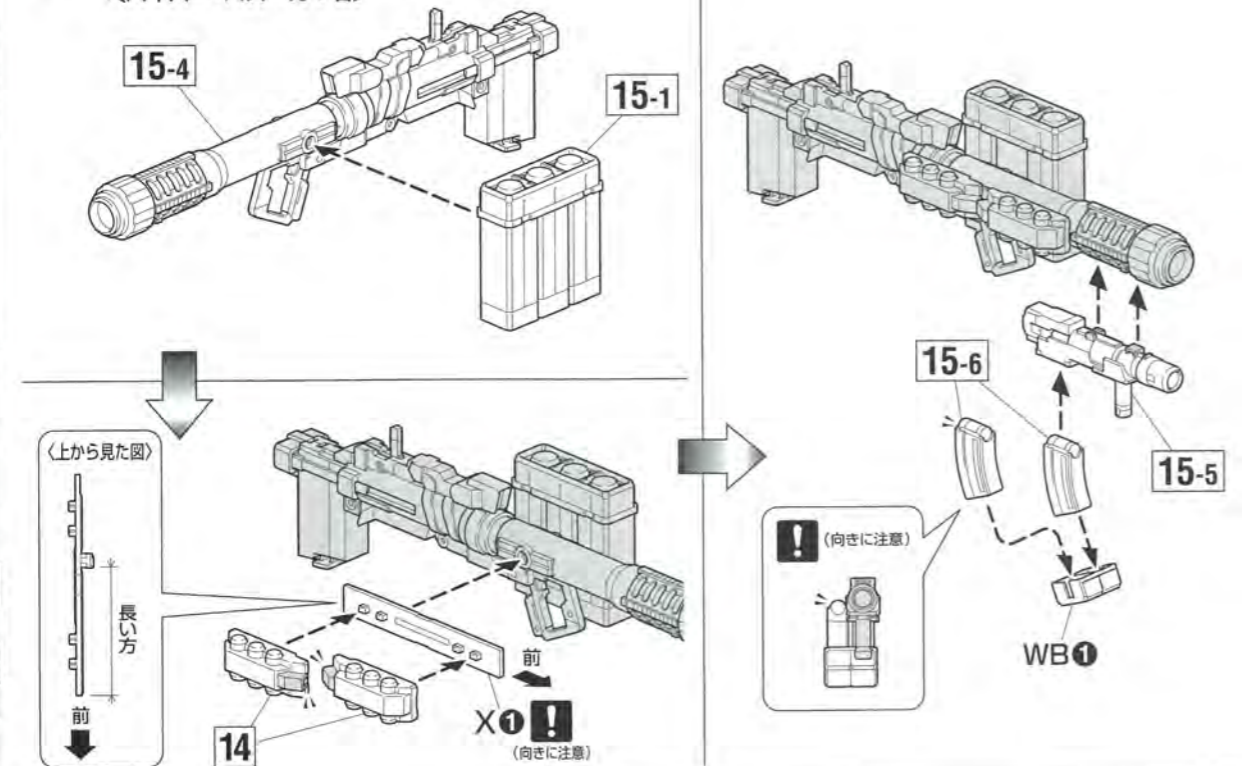


### 15-6



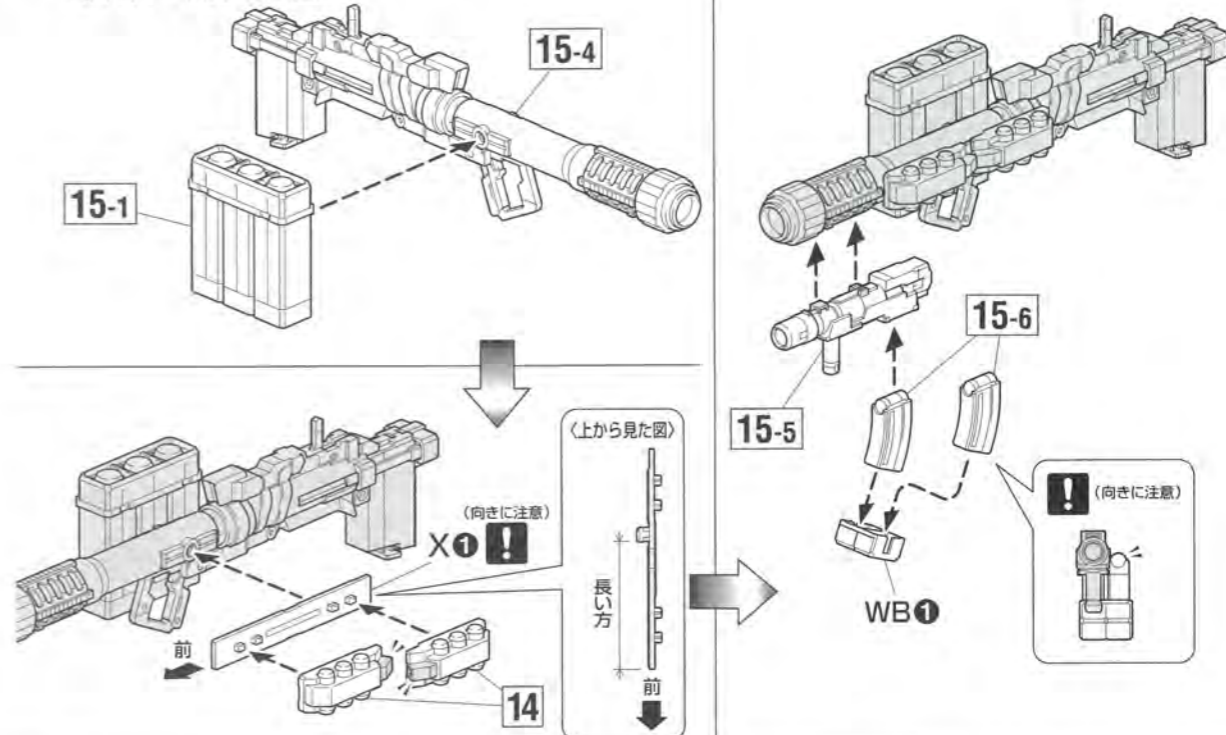
### 15-7 HYPER BAZOOKA[RIGHT]

〔ハイパー・バズーカ：右〕



### 16 HYPER BAZOOKA[LEFT]

〔ハイパー・バズーカ：左〕

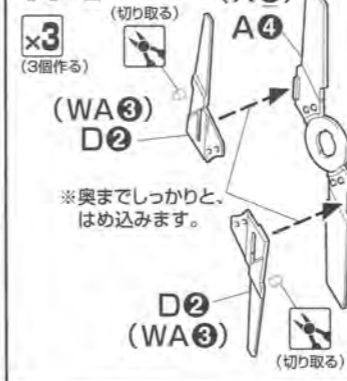


### 17-1 SHIELD

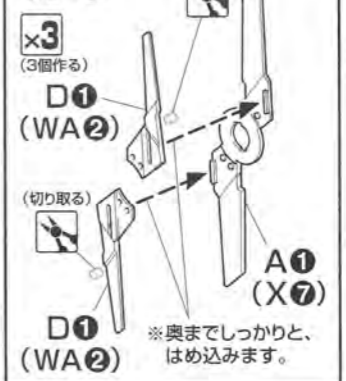
〔シールドの組立〕



### 17-2

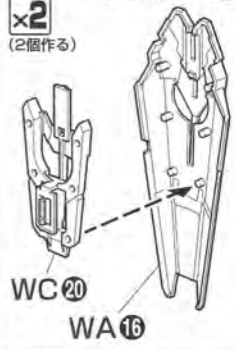


### 17-3



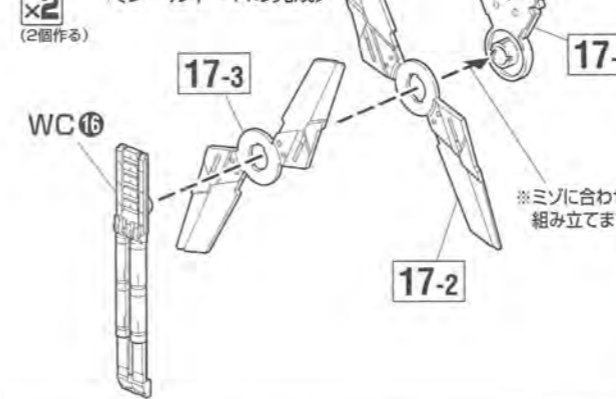
### 17-4 SHIELD-A

〔シールド：Aの組立〕



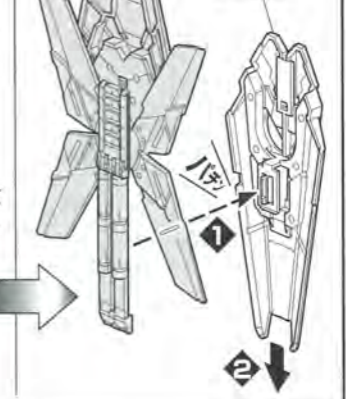
### 17-5 COMPLETION

〔シールド：Aの完成〕



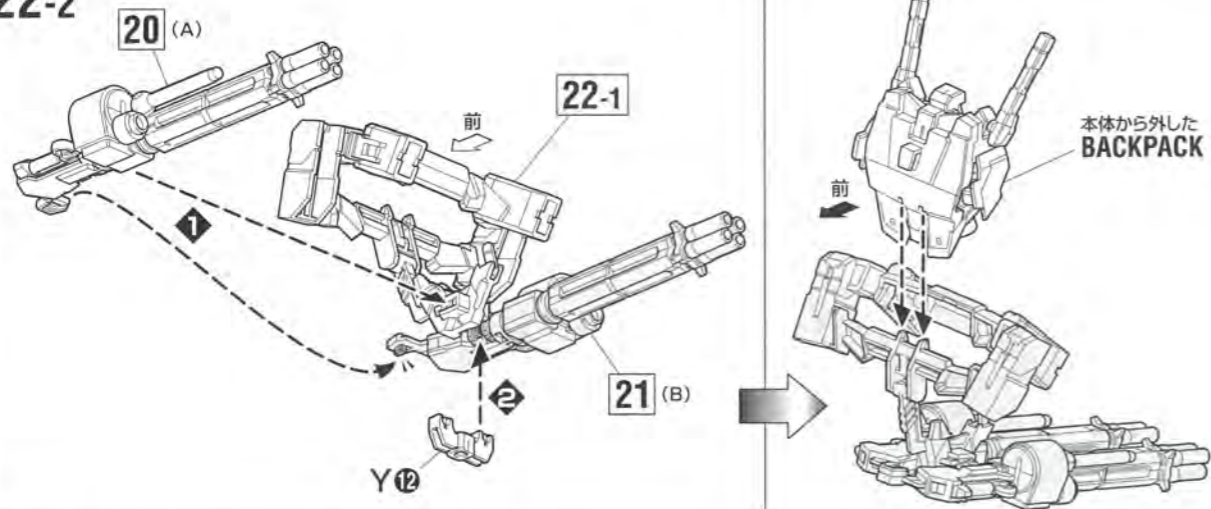
### 18-1 SHIELD-B

〔シールド：Bの組立〕

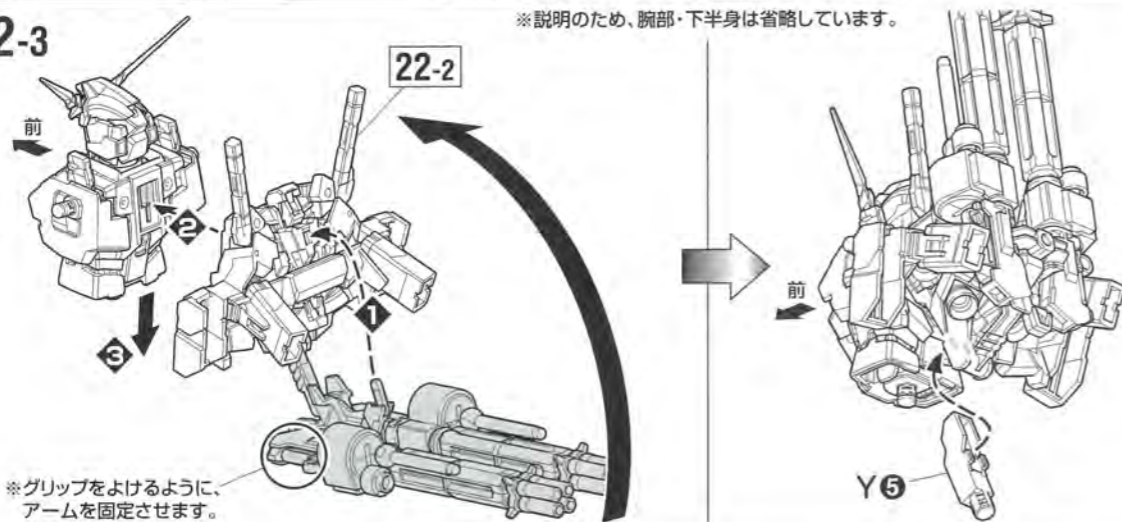




### 22-2

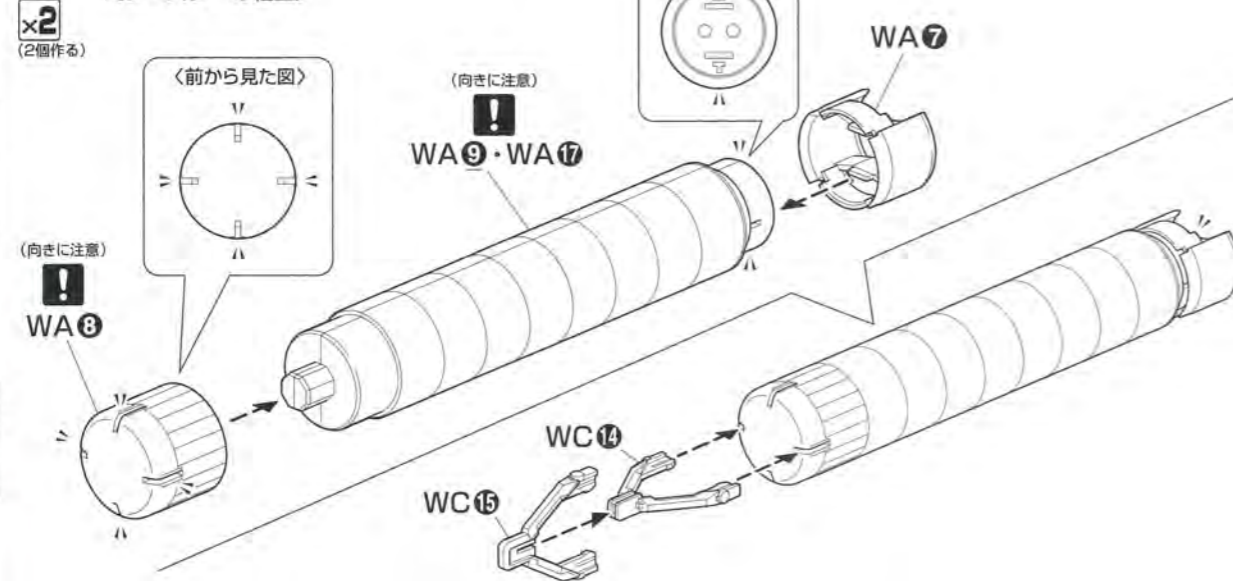


### 22-3

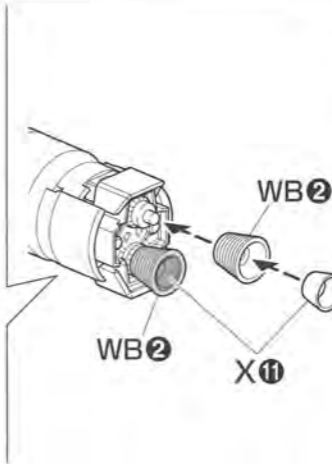
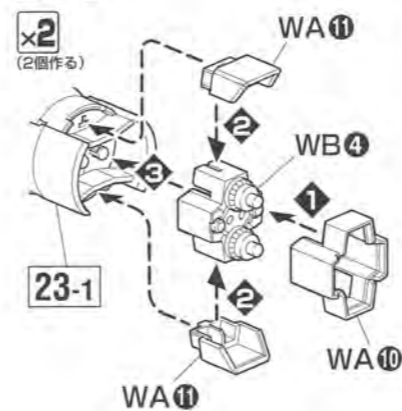


### 23-1 BOOSTER

〔ブースターの組立〕

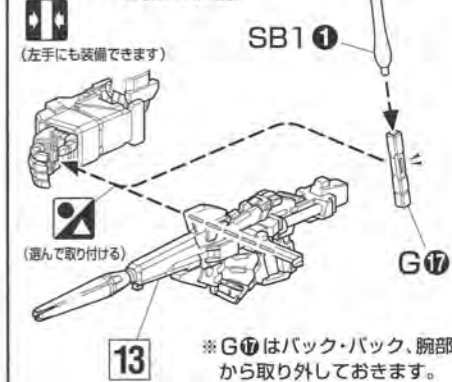


### 23-2

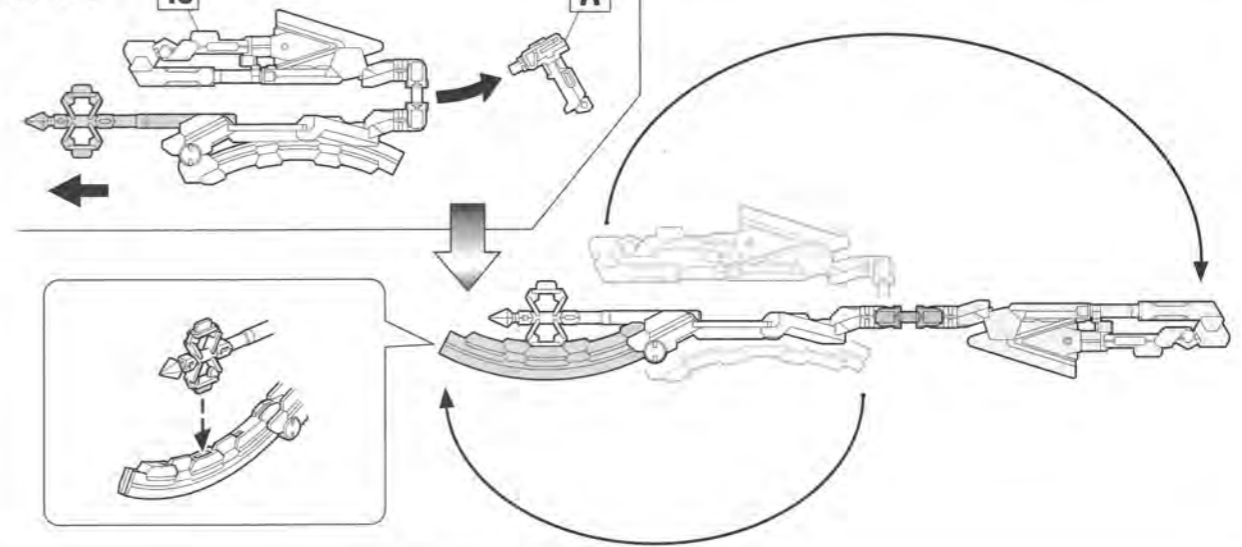


### 24-1 WEAPONS EQUIPMENT

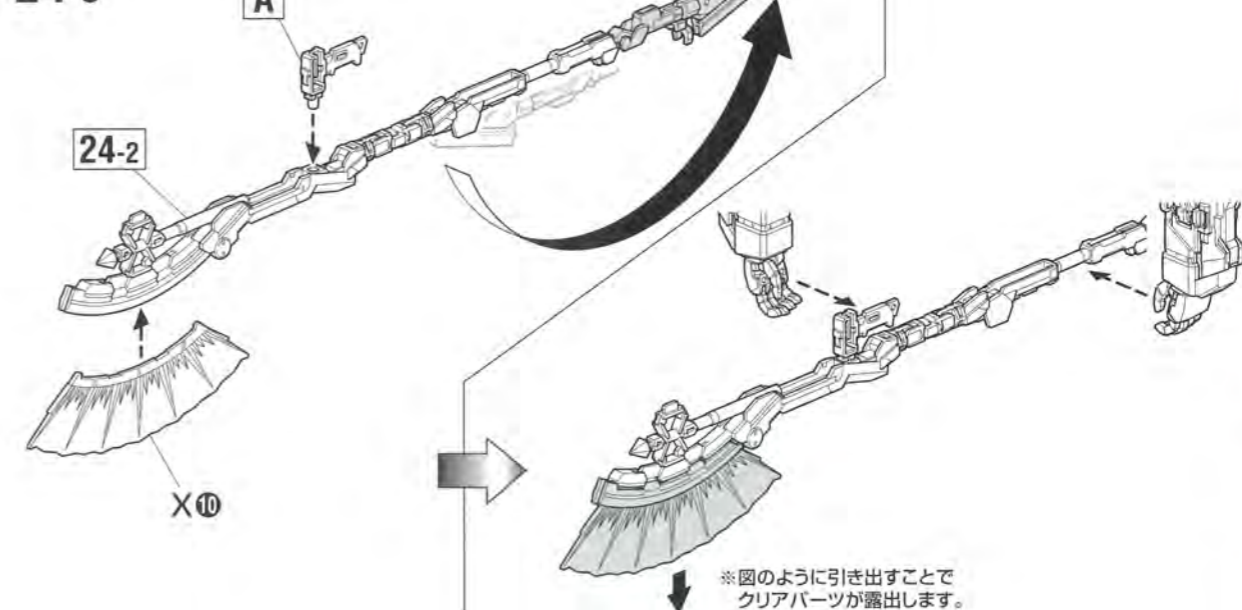
〔武器の装備〕



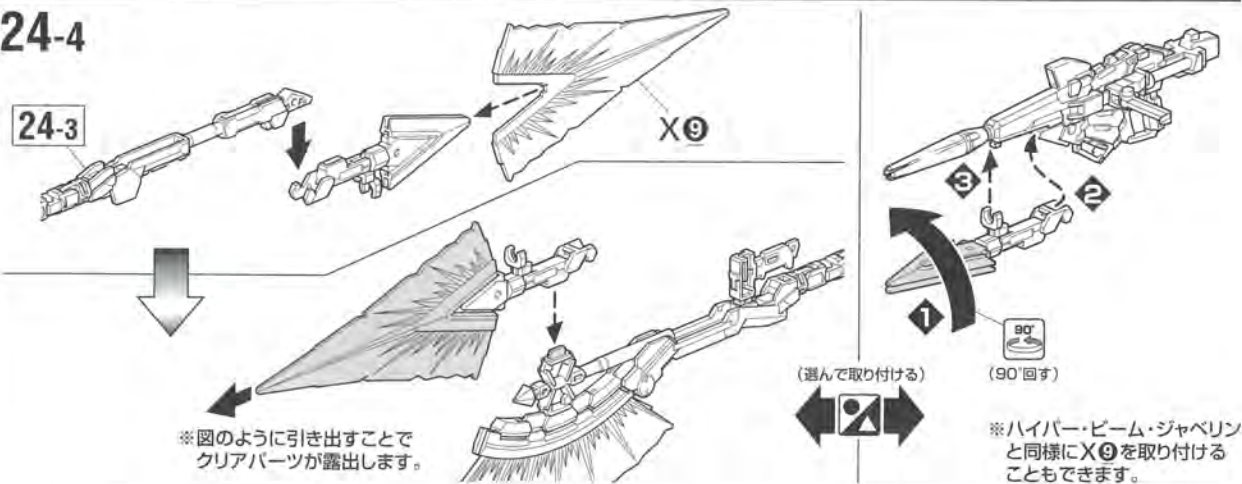
### 24-2



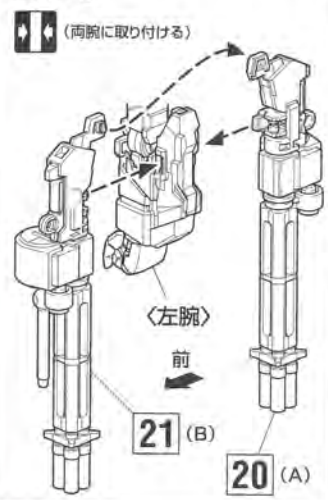
### 24-3



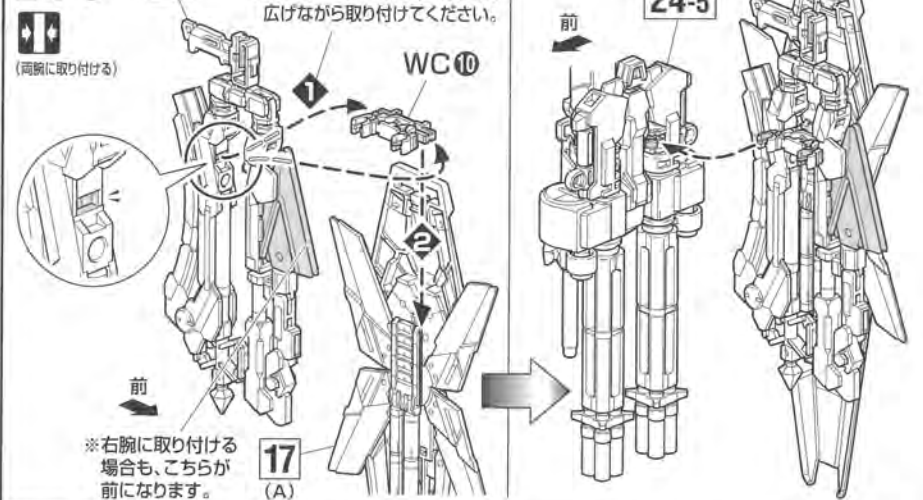
24-4



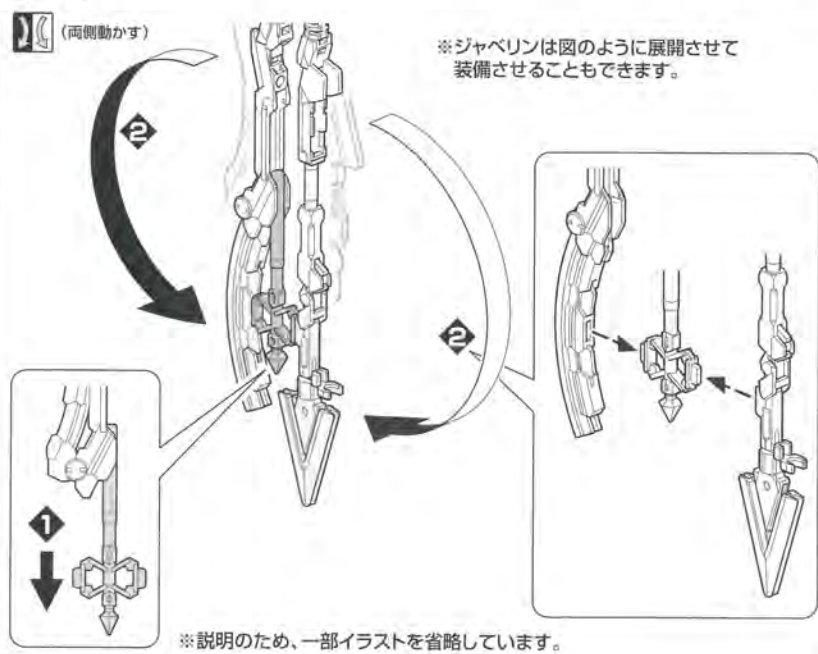
24-5



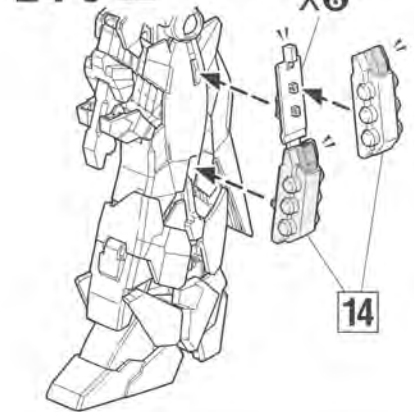
24-6



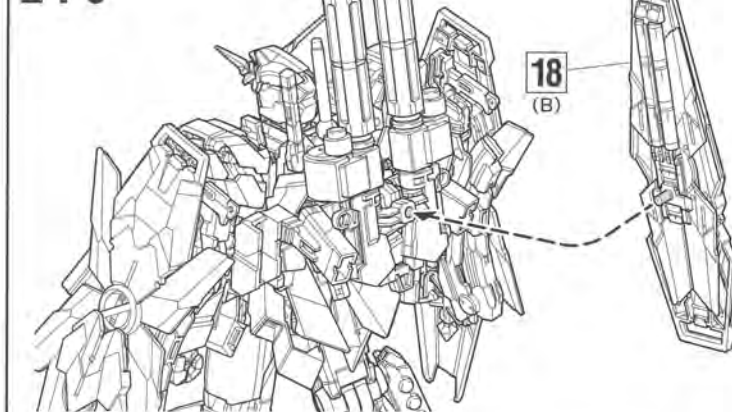
24-7



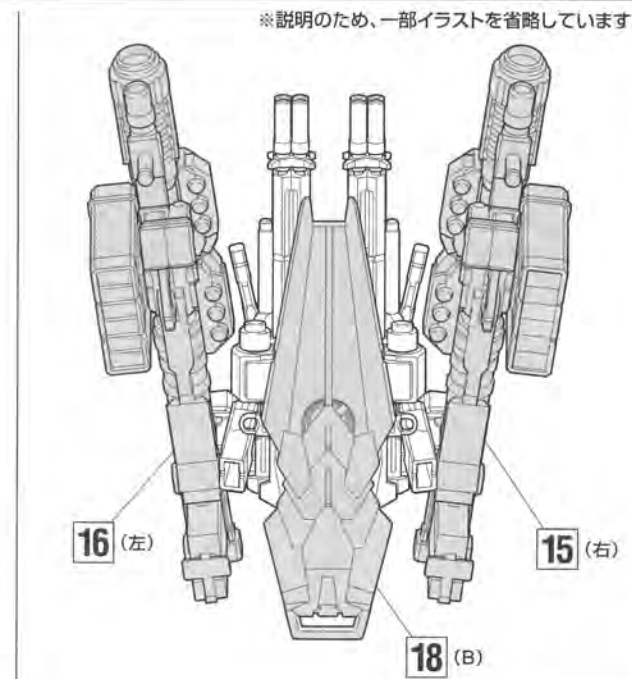
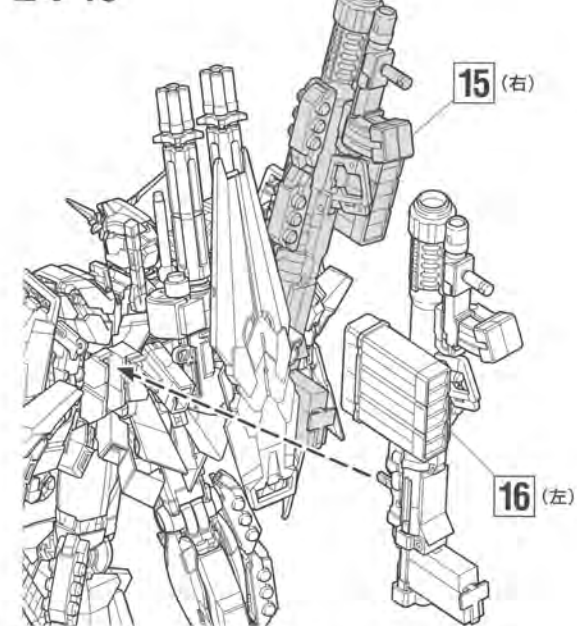
24-8



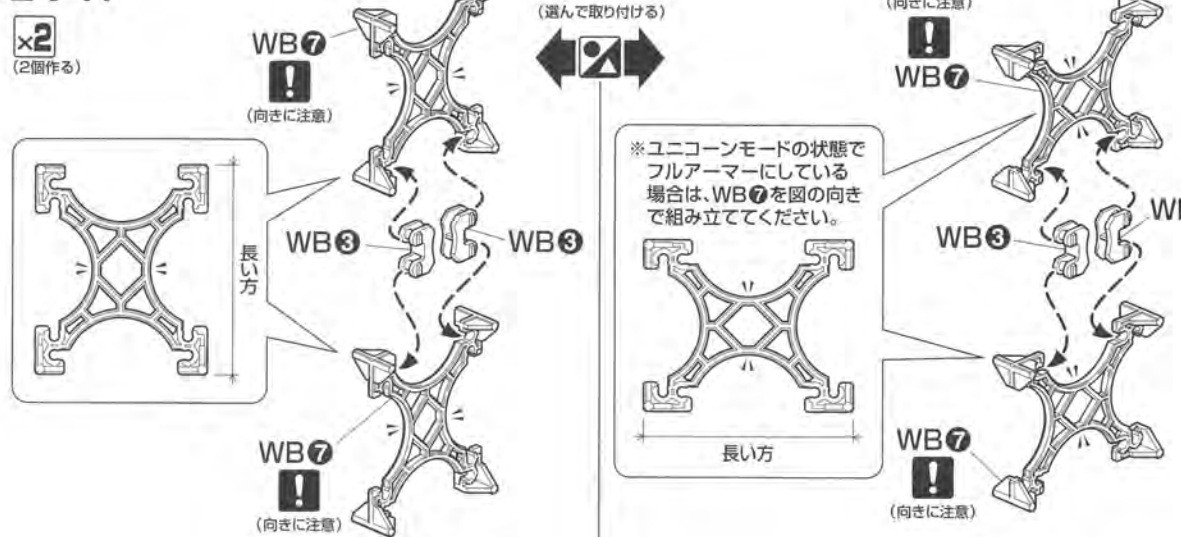
24-9



24-10

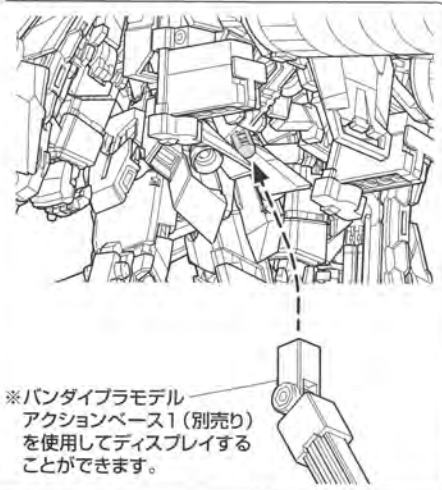
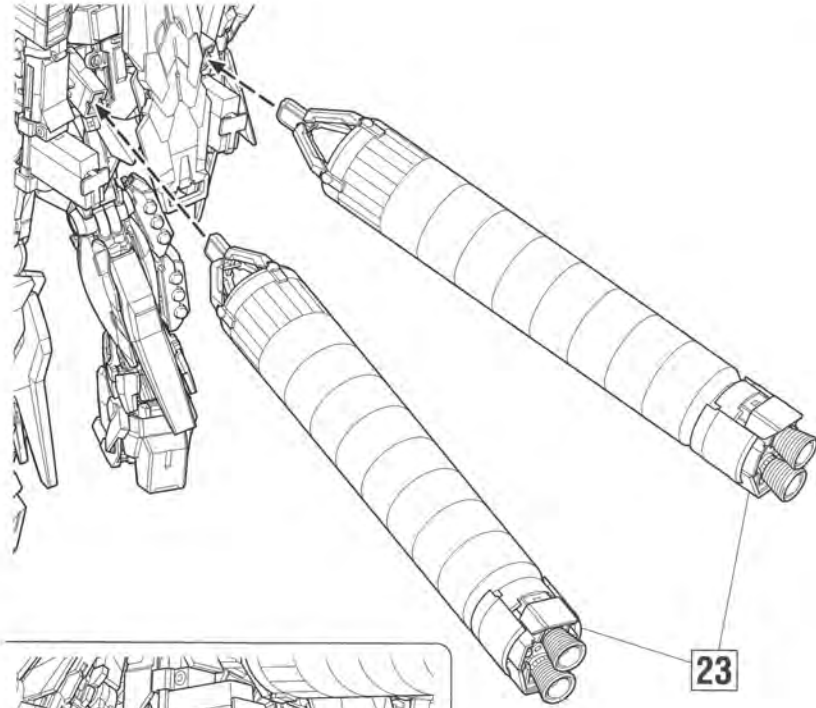


24-11





24-12

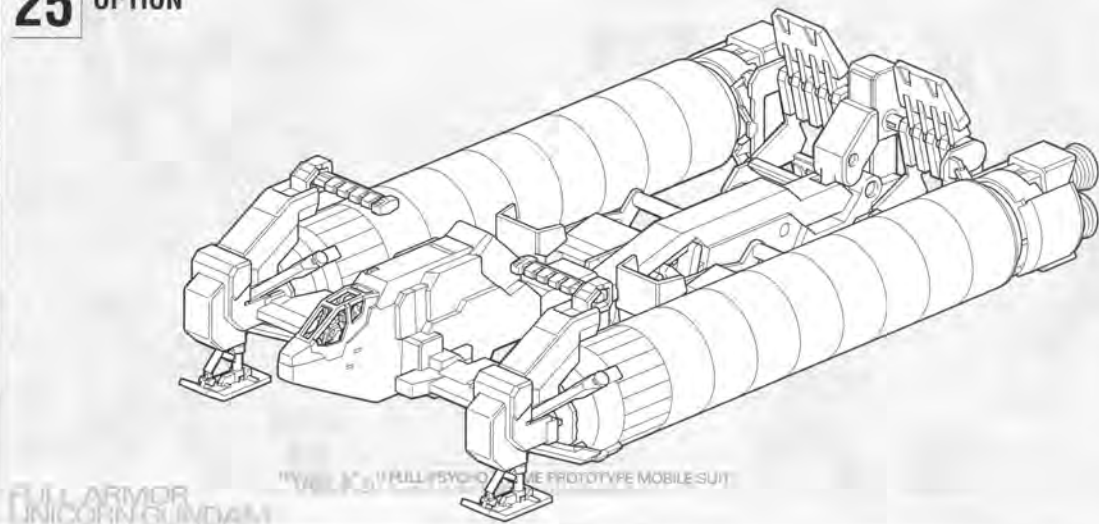


※バンダイプラモデル  
アクションベース1 (別売り)  
を使用してディスプレイする  
ことができます。

(両側取り付ける)



25 OPTION



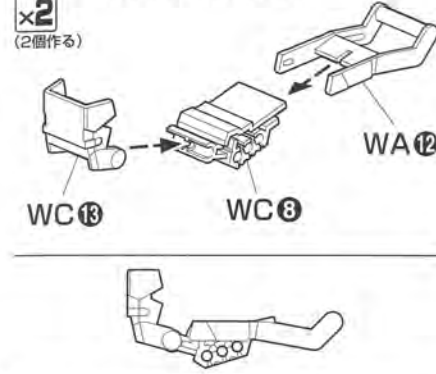
FULL ARMOR  
DIGNITY GUNDAM

"WALKER" FULL PSYCHO THE PROTOTYPE MOBILE SUIT

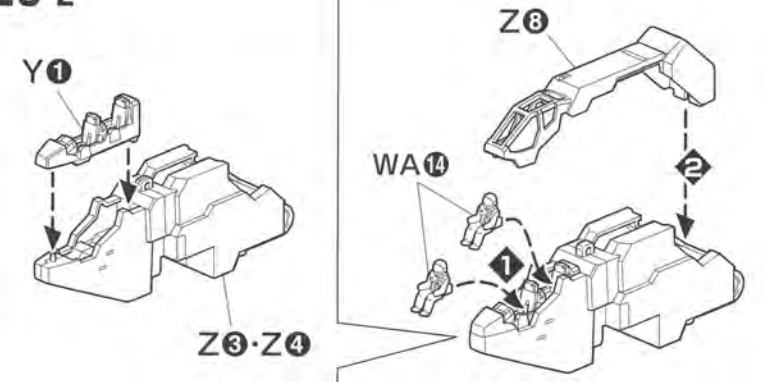
25-1 OPTION

〔オプションの組立〕

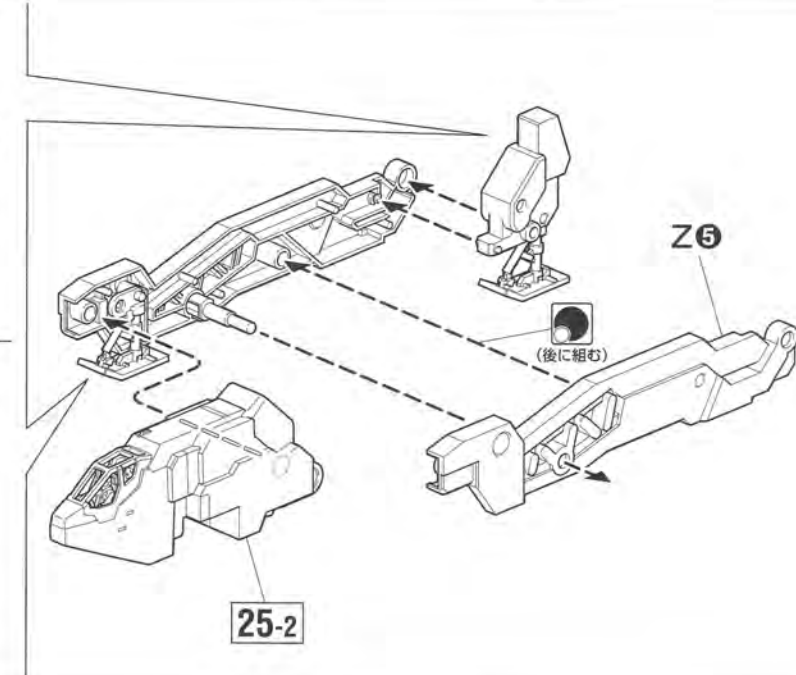
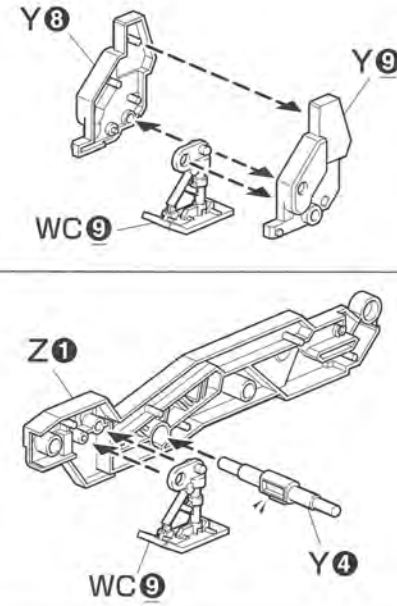
×2  
(2個作る)



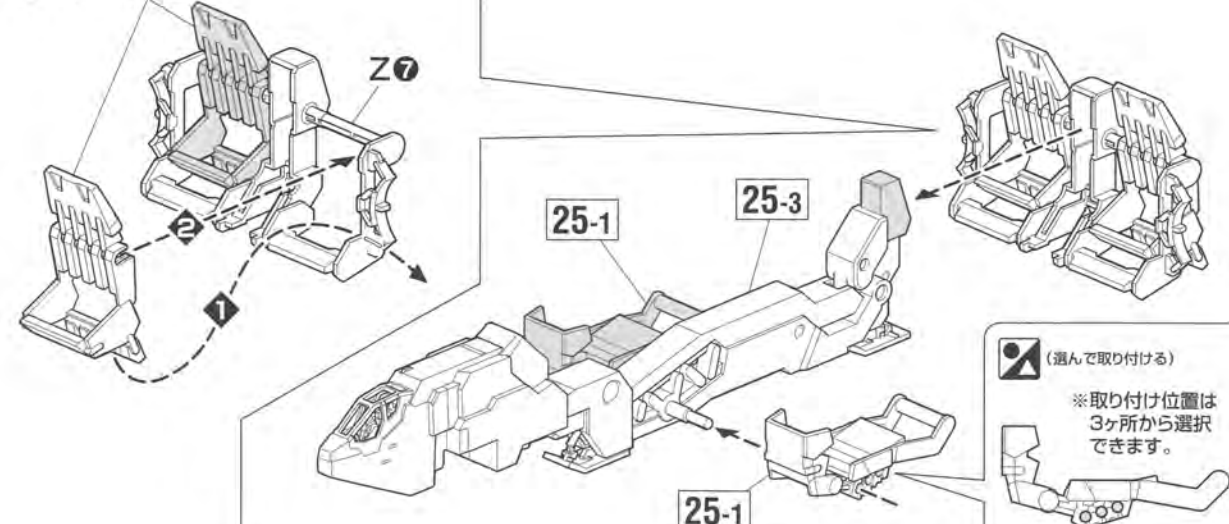
25-2



25-3



25-4 WC10

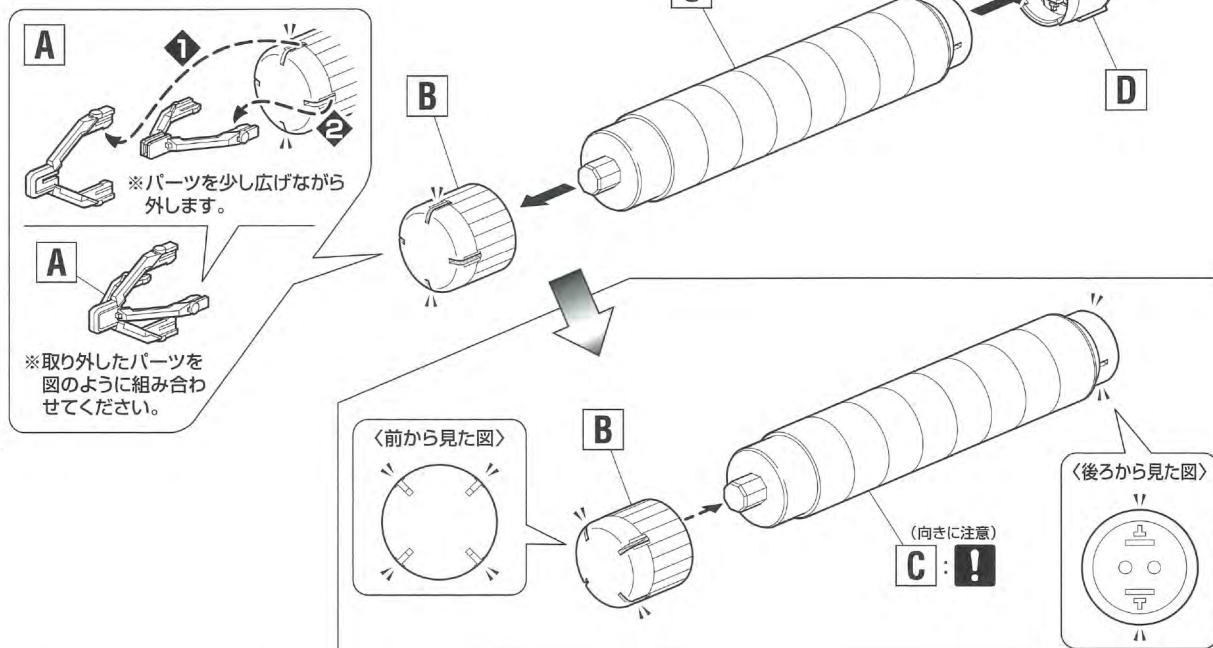


(選んで取り付ける)

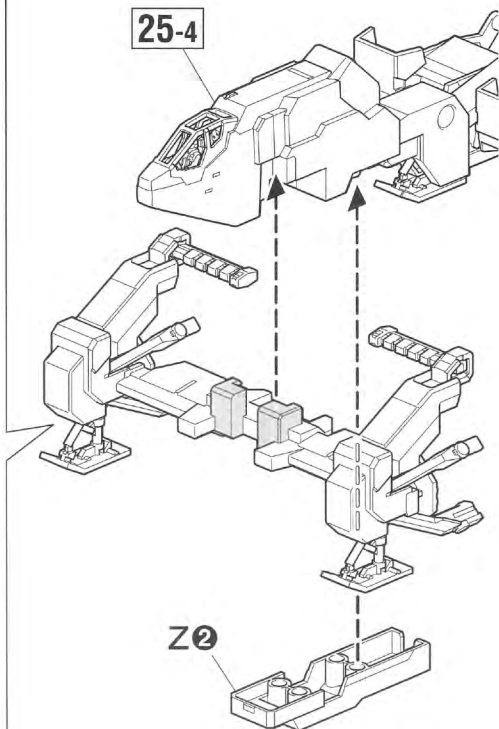
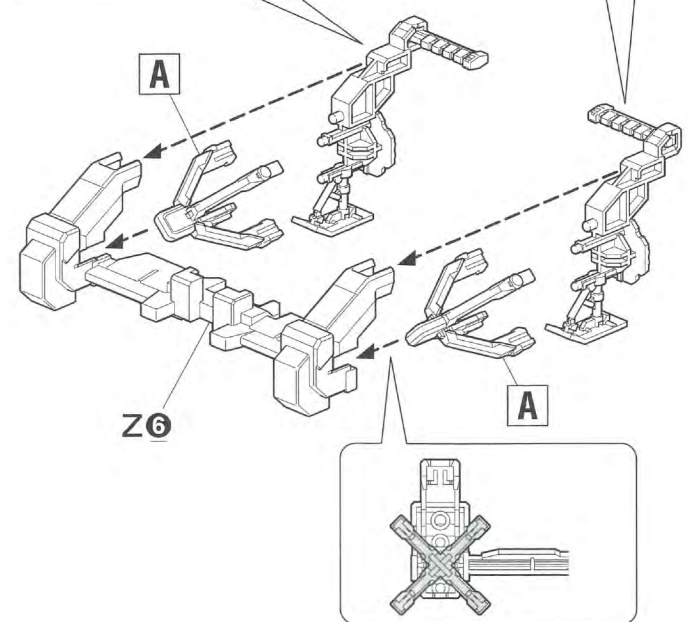
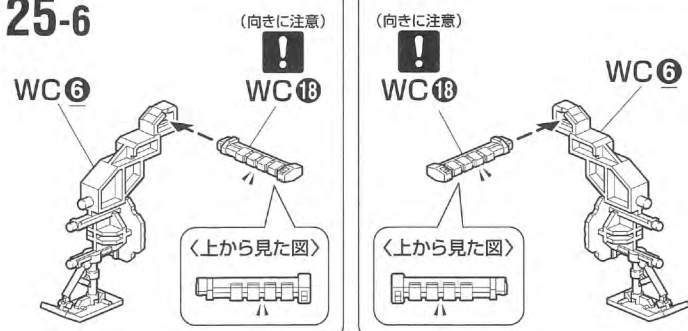
※取り付け位置は  
3ヶ所から選択  
できます。

25-5 ※ 23 ブースターをフルアーマーユニコーンガンダムから取り外してください。

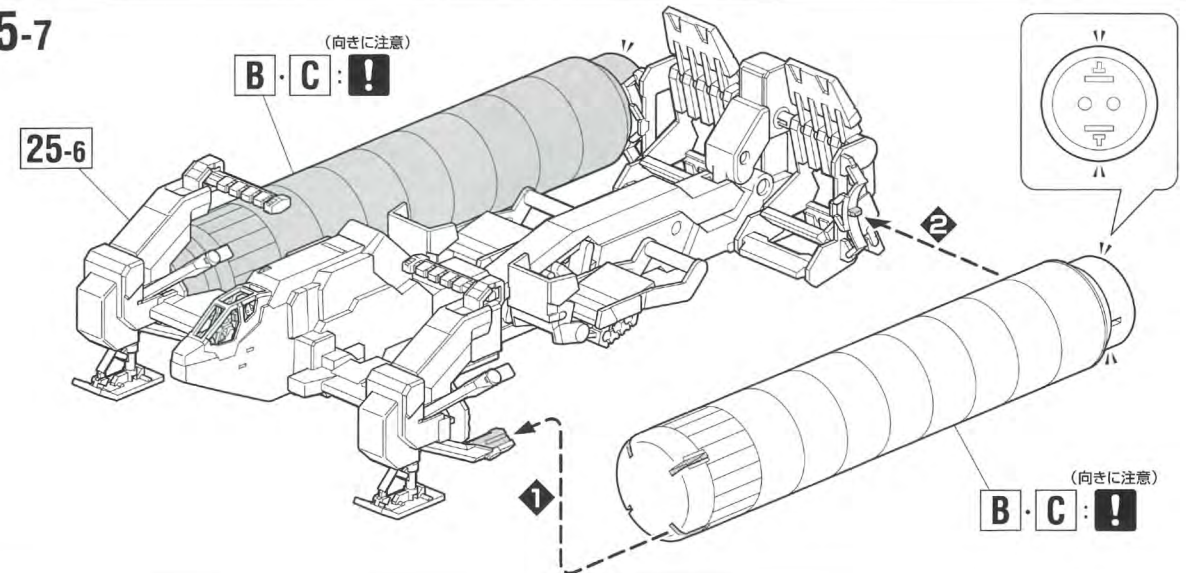
×2 (2個作る)



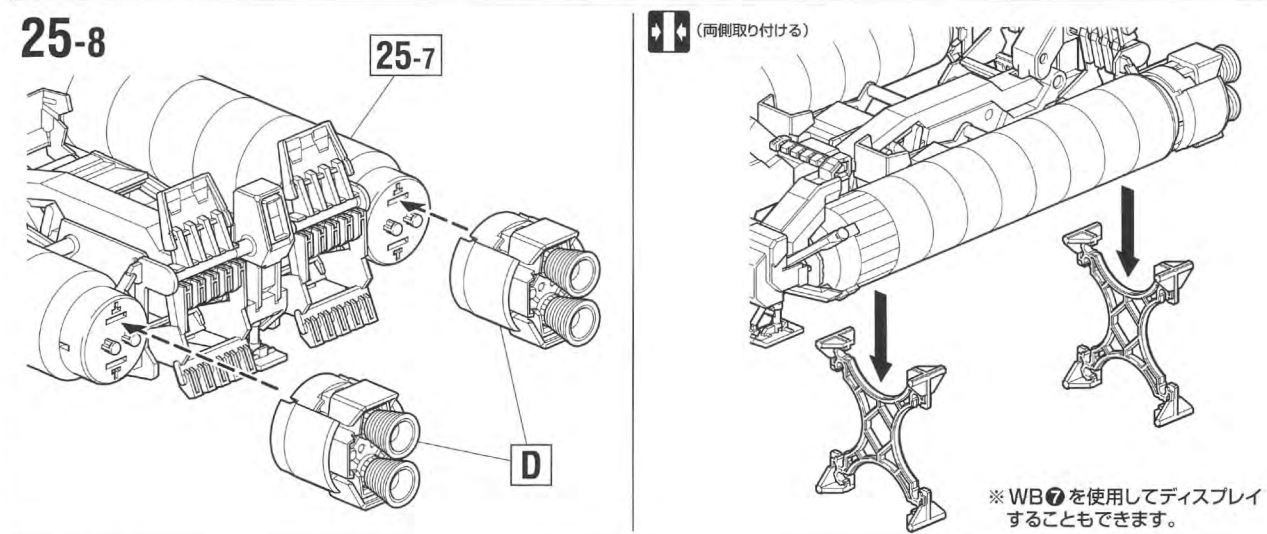
25-6



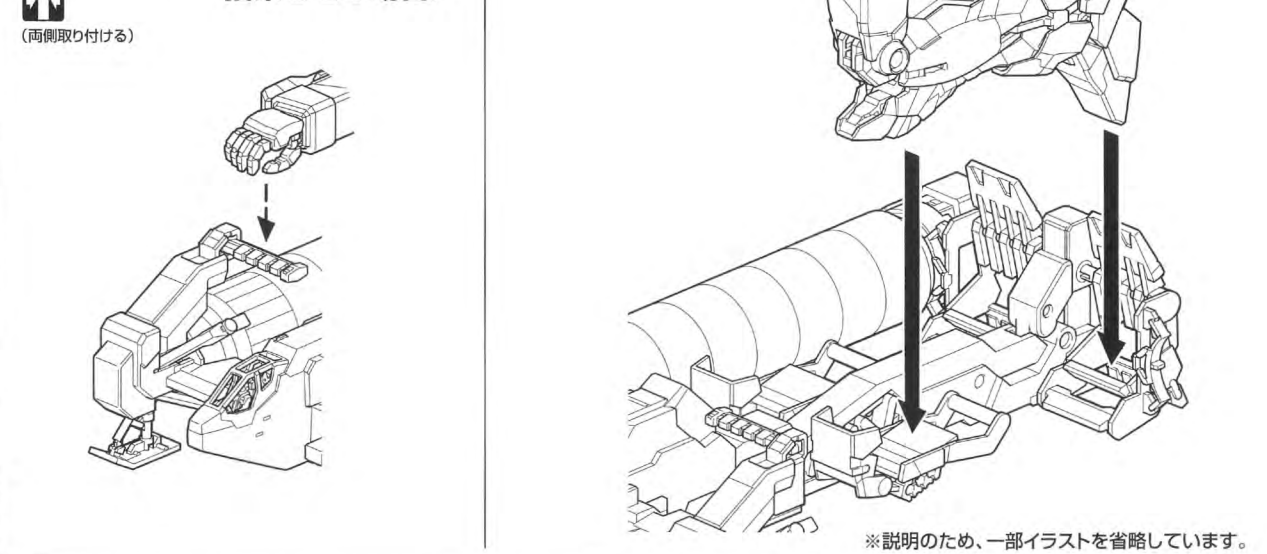
25-7



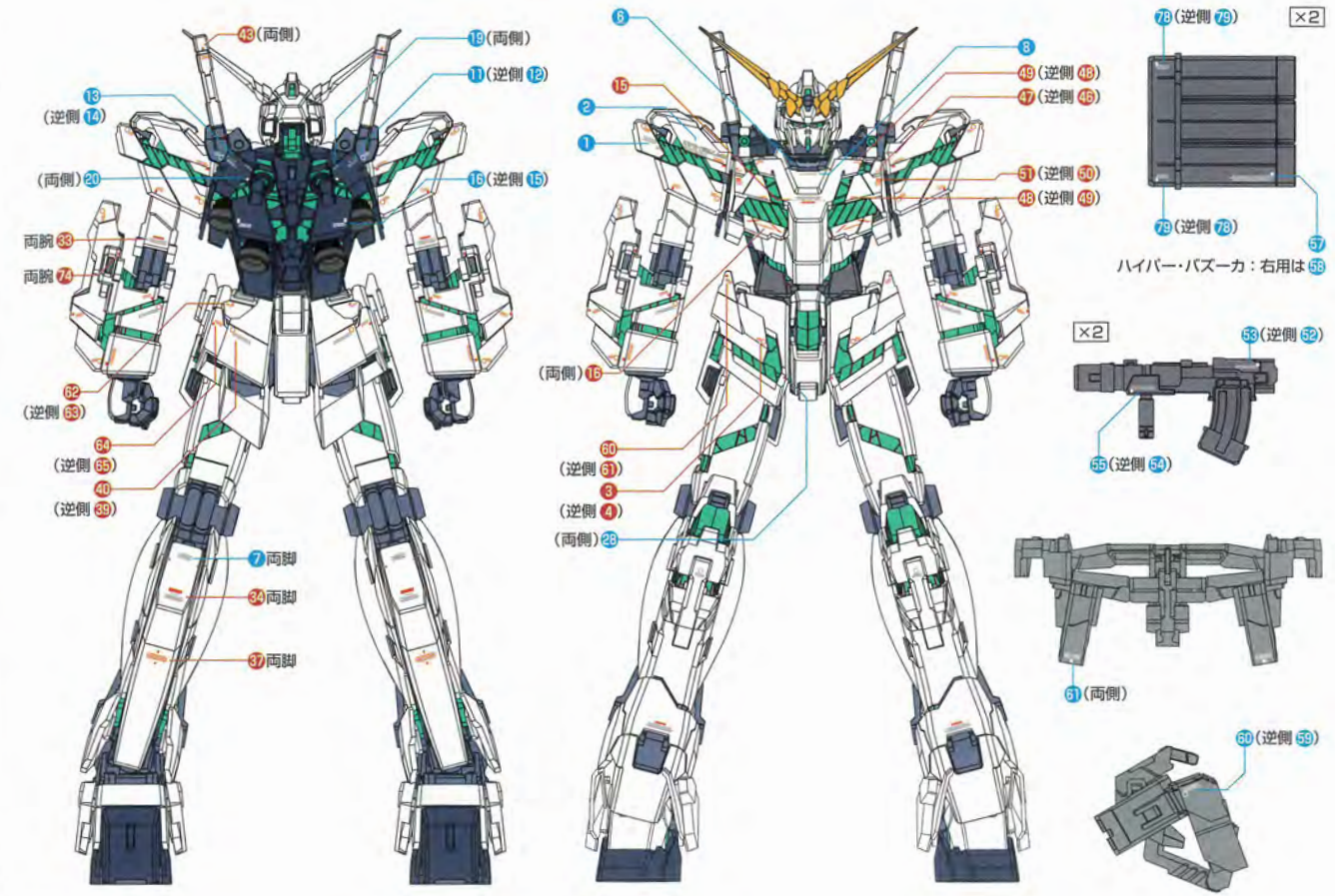
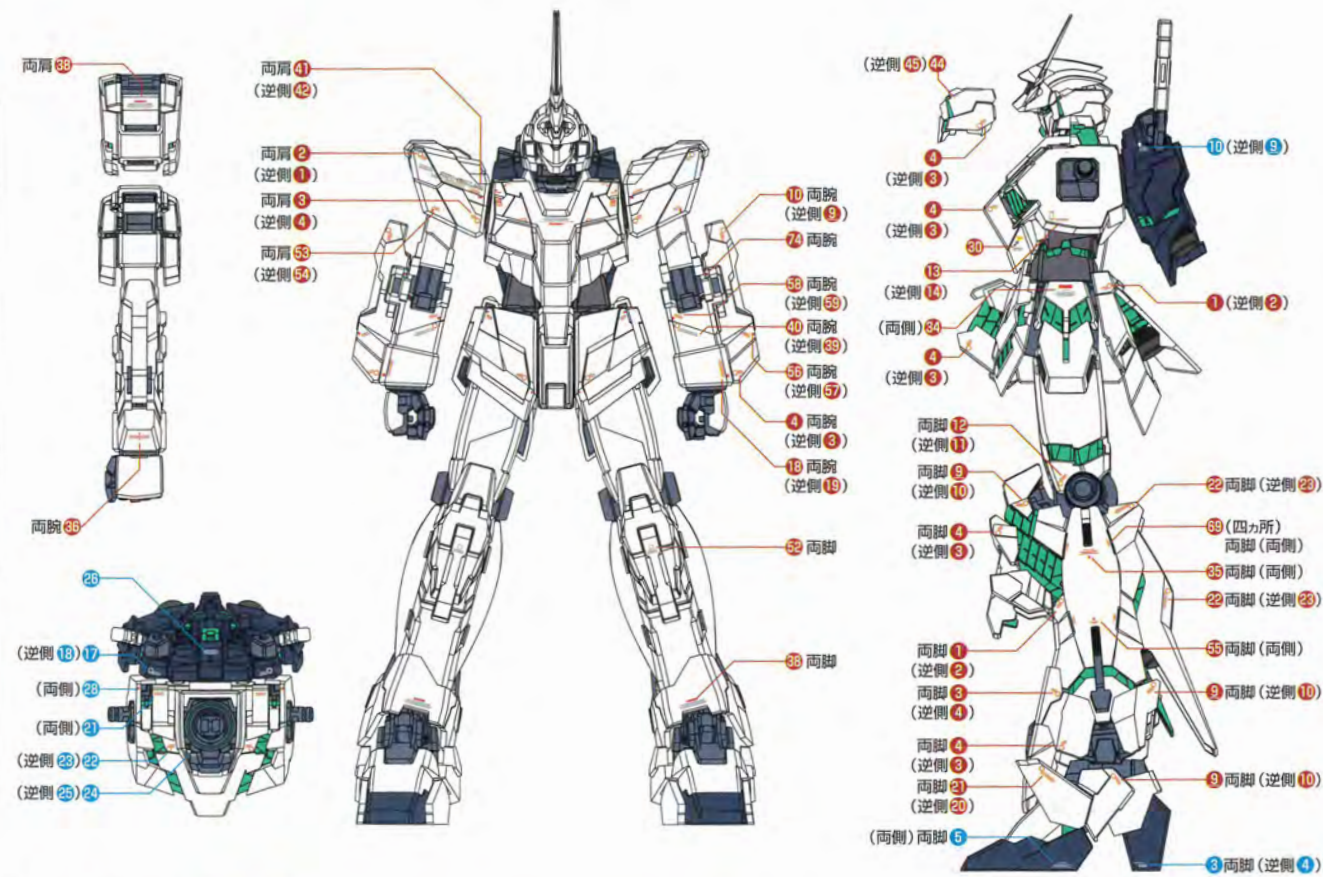
25-8



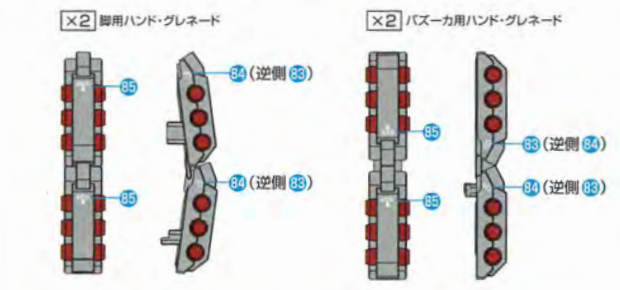
25-9 <ユニコーン本体を搭乗させる場合>



PARTS LIST BODY HEAD ARMS UPPER BODY WAIST LEGS BACK PACK BOTTOM BODY ASSEMBLY TRANSFORMATION WEAPONS OPTION



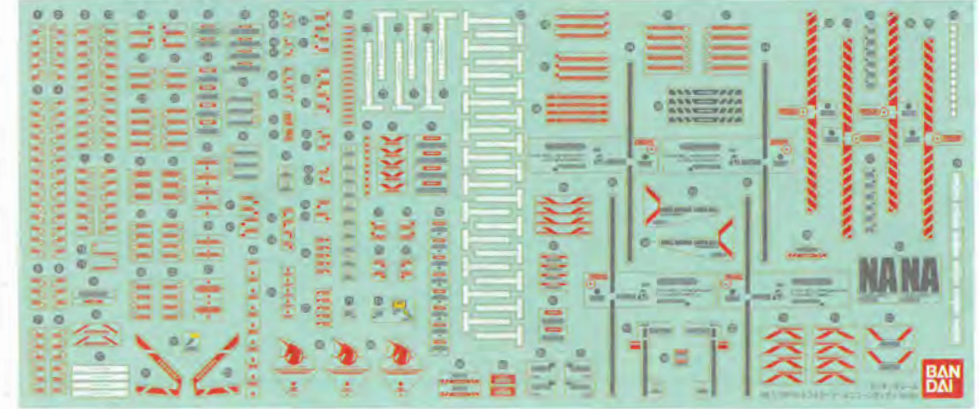
■ガンダムデカール ①～③⑤



COMPLETE DIAGRAM for painting and applying decal

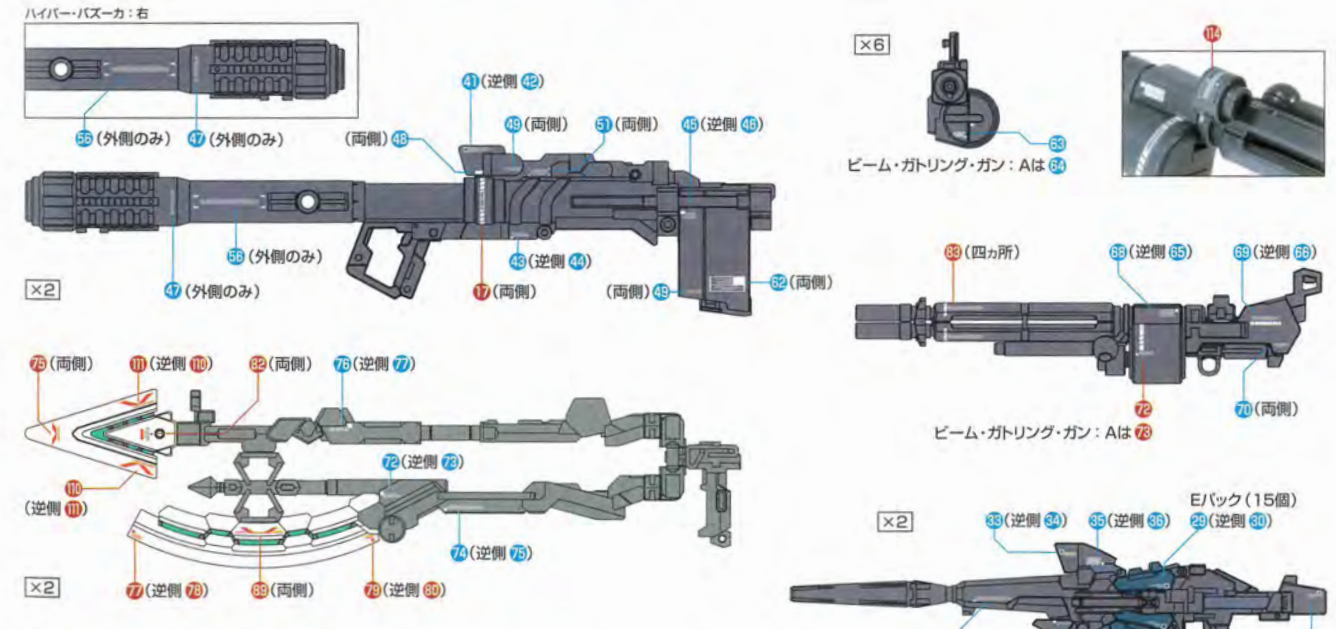
このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

■マーキングシール ①～⑩



■ガンダムデカールのはりかた  
 1.転写するマークをだまかに切ります。  
 2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペンなどの先の丸い物で上から軽くこすりつけます。  
 3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすりつけます。

※マーキングシールをさらにきれいに貼りたい場合は、透明な余白をあらかじめカッター等で切り取ってお貼りください。  
 ※指示の無い部分を貼る場合は、イラストを参考にお貼りください。  
 ※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。



COLOR CHART used paints and mixture ratio

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。  
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」の使用をおすすめします。  
 ※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。  
 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

【フィギュア：バナー・リンクス】	【フィギュア：ベースジャバーパイロット】	【フルアーマーユニコーンガンダム】
【ノーマルスーツライン】 モンザレッド100%	【胸部 グレー】 ホワイト95%+ブルーグレー5%	【白】ホワイト100%
【ノーマルスーツ グレー】 グレー95%+グリーン5%+ホワイト少量	【ヘルメット ブルー】 ホワイト70%+ブルー30%	【青】コバルトブルー70%+ネービーブルー25%+蛍光ピンク5%
		【黄】黄橙色80%+ホワイト15%+蛍光オレンジ5%
		【関節等グレー】 グレー95%+マホガニー5%+ブラック少量+イエロー少量
		【腹部等ライトグレー】 グレー80%+マホガニー20%+ブラック少量+パープル少量

# 数多の武器を携えた神獣

Interview ;  
FUKUI HARUTOSHI  
KATOKI HAJIME

小説『機動戦士ガンダム UC』0096/FINAL SECT「虹の彼方に」では、最終決戦へ挑むバナージのために《フルアーマーユニコーンガンダム》が用意された。今回のMG Ver.Kaではさらに新デザインの「ハイパー・ビーム・ジャベリン」が追加される。武器を満載し、多くのギミックも内蔵したこの神獣はいかにして生まれたのだろうか？

小説『機動戦士ガンダム UC』の最終章では、フル・フロントル率いるネオ・ジオン艦隊とバナージたちの最終決戦がクライマックスとして描かれる。計17門もの火器を装備したフルアーマーユニコーンガンダムは、十二対一の彼我兵力差をはねのける活躍をしてみせた。

カトキ「ガンダムの強化プランといえば、追加アーマーが定番ですよ。でも『ガンダム UC』のストーリーの流れだと新たな装備を開発する時間が無いし、アーマーを持ち込む時間もありません。そこで『ネル・アーガマ』艦内にあるストック品をフル活用した、急造の決戦仕様と位置づけてデザインしました。名前に『フルアーマー』と入れたのは、発案者のタクヤの趣味というか、その呼び方へのあこがれでしょう」

携行武器をあるだけ機体に装着させた姿は“全部盛り”といった形容が頭に浮かぶ。複数の砲身を屹立させ、巨大なスラスターが後方に伸びたシルエットは人型を外れ、魔獣か大天使に写る。ユニコーン本体も、サイコフレームの発光色が赤からエメラルドグリーンへと変化。今回のMG Ver.Kaでも再現される。

カトキ「逆襲のシャア」でのサイコフレームの発光表現は、エフェクトによって七色に変化しますが基本はグリーンに見えます。『ガンダム UC』の小説で、共鳴を起こしたサイコフレームやサイコフィールドは、“虹色”と表現されていますがイラストではグリーンをベースに描いてきました。キットではバンダイが新しいクリア素材を開発してくださり、新しい表現に挑んでいます」

MGフルアーマーユニコーンガンダム Ver.Kaには、オリジナル武装「ハイパー・ビーム・ジャベリン」が付属する。著者・福井晴敏氏からのイメージを受けて、カトキハジメ氏が新規でデザインを起こしている。

福井「このジャベリンの元になったものは、俺らの世代が見れば、すぐわかるんですよ。その答えはクローバー製「ガンダムDX合体セット」から。俺が初めて知ったのは、トニーたけざきさんが『月刊ガンダムエース』で描かれた漫画で、クローバー製ガンダムが戦国武将ばりに戦っているんです。オモチャなのに(笑)。当時の写真には、左胸と足の甲に「G」と書いてあって、アニメでは見たこともない

でっかいジャベリンを持って、キャノン砲を付けて直立不動でガンダムがGファイターに乗っかってる。リアル路線のガンブラとは真逆の姿がすごく印象に残っていて。あとで聞いたらクローバー製ガンダムはすごく売れたんだそうですね。当時の俺はたまたま知らなかったけど、クローバー製ガンダムは、ファーストガンダム世代の脳内に焼き付いた、古き良きアイテムだったんですね」

ガンブラが生まれる以前の、ファーストガンダム・ファン思い出のアイテムからイメージをもらい、カトキ氏の手により「ハイパー・ビーム・ジャベリン」は誕生した。さらにこの新武装には、格納形態やビーム・マグナムへの装着など多彩なギミックも盛り込まれた。

カトキ「『ガンダム UC』では、ウェポンシステム(戦術に応じてパーツを組み替え、単一の武器で複数の機能をもった構造)と言いますが、シールドやビーム・ライフルを基本にしてさまざまな着脱ギミックを大事にしていきました。MG《シナンジュ》ではシールドとビーム・アックスがドッキングして凶悪な打突兵器になるので、それに見劣りしないギミックを《ユニコーン》に付けたかったのもジャベリンを描いた動機のひとつです」

福井「こちらからお願いしていたのは、ジャベリンの柄をそのまま握らせるのではなく、クローバー製ガンダムと同じように柄から伸びたグリップを握らせてほしいのと、サイコフレームを仕込んでほしい、この2点でした。オー

ダーに完璧に応えつつ、新たなギミックまでも盛り込んだ、すばらしいデザインです」

シナンジュを超える大型キットとなったMGフルアーマーユニコーンガンダム Ver.Kaには、さらにオプション・アイテムが付属する。フルアーマーユニコーンの大型スラスター2基と追加パーツを合体させると「94式ベースジャバー」が完成。これが初の商品化となる。

カトキ「『Zガンダム』から一連のS.F.Sが登場しますが、商品化された例が少ないですよ。その障害のひとつは大きさだと思います。MSを積載するメカはうっかりすると、凄く大きくなってしまいます。それなので『94式ベースジャバー』は、MS1機が乗るギリギリのサイズに設定していました。それが今回のキットでは幸いしたかもしれませんが、MSだけでなくS.F.Sのようなサポートメカも商品になることは『ガンダム UC』らしく嬉しいですね」

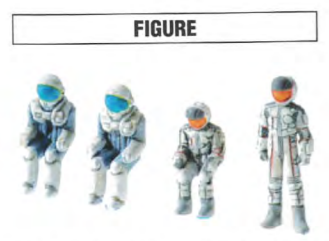
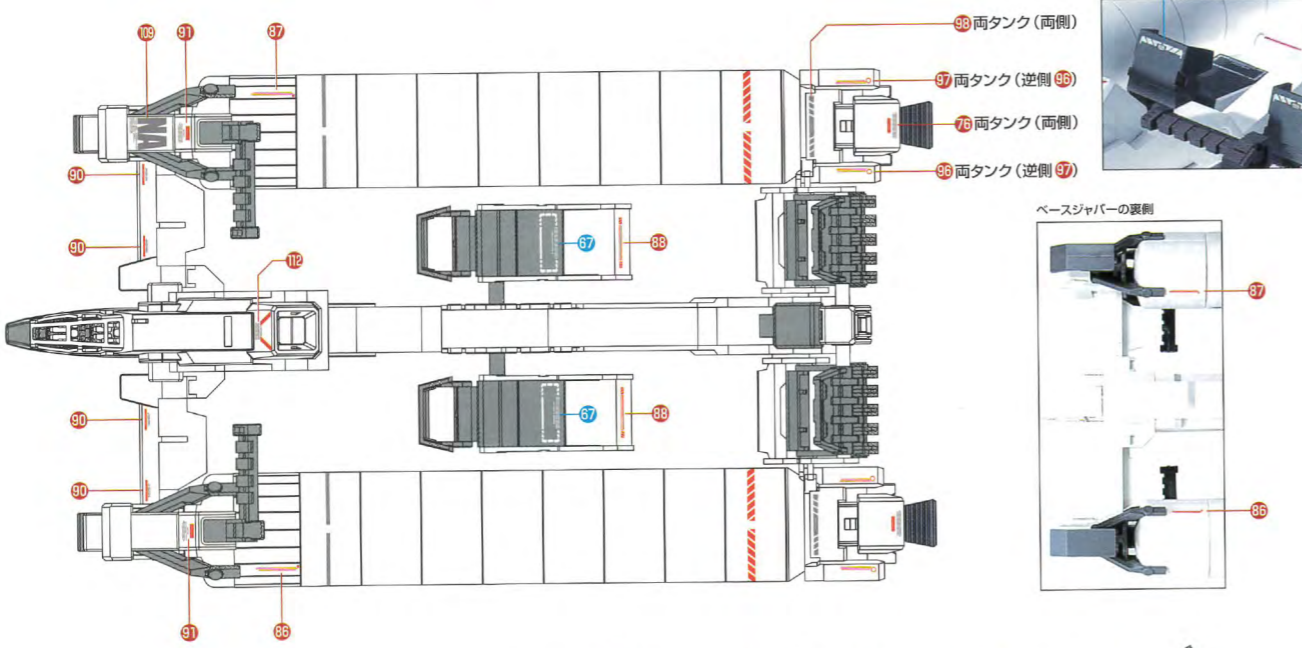
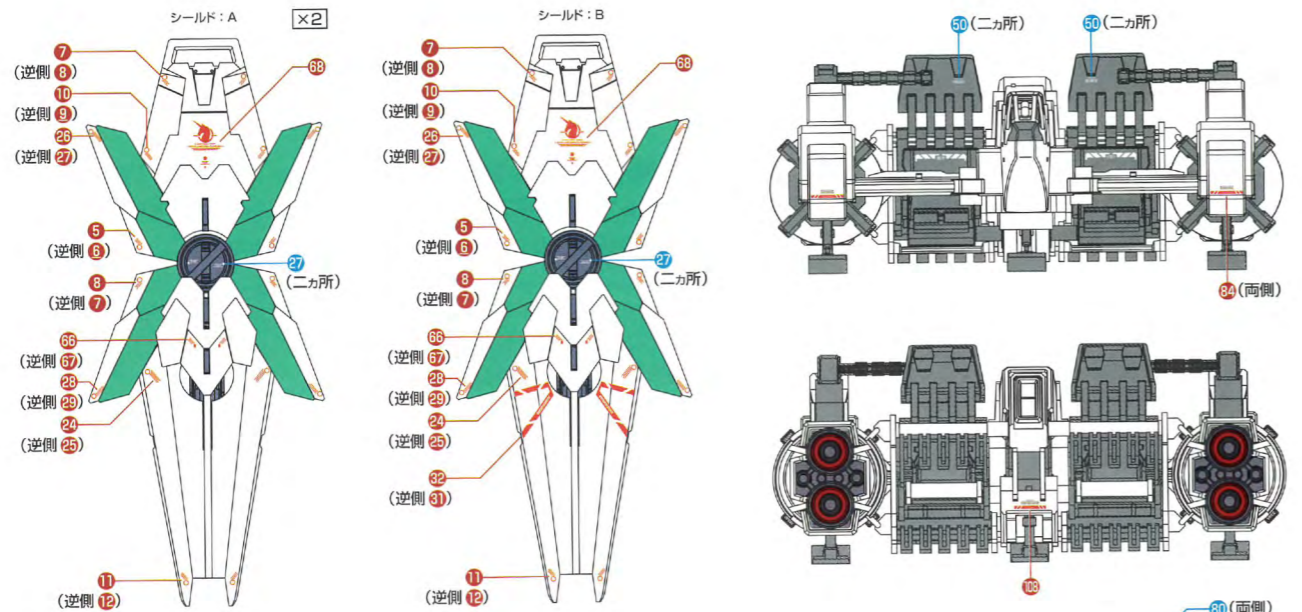
デザイナーズMGとして第10弾を迎えるMGフルアーマーユニコーンガンダム Ver.Kaは、武装、オプション、ギミックともにシリーズ中最大のボリュームとなった。

福井「今回はパッケージのボリュームもウリのひとつです。当時、年末商戦で売られていた、でっかいクローバー製ガンダムは子供たちにとって高嶺の花でした。そのでっかい箱を抱えたときのワクワク感を、この商品でも味わっていただけたらうれしいですね」

## 小説「機動戦士ガンダム UC」0096/Final Sect 虹の彼方に

「ラプラスの箱」。解放されれば、現行の地球連邦政府を転覆させるほどの“何か”を秘めた存在。主人公のバナージ・リンクスは「箱」の鍵である《ユニコーンガンダム》の乗り手となり、少女オーディー・バーンとともに「箱」を求め地球圏を巡っていく一物語もついに終局を迎え、バナージは《フルアーマーユニコーンガンダム》を駆り、フル・フロントル率いる「袖付き」艦隊に最終決戦を挑む。その先にある「箱」をめざし、バナージは出撃する

機動戦士ガンダム UC  
⑨ 虹の彼方に  
著者：福井晴敏  
原案：矢立肇  
富野由悠季  
●角川書店  
●発売中



【ベースジャバーパイロット】【バナージ・リンクス】

- 【武器】 ネービーブルー65%+グレー25%+マホガニー10%
- 【Eバック】 ネービーブルー35%+ブルー30%+ホワイト20%+グリーン15%
- 【カメラアイ】 クリア50%+クリアグリーン40%+クリアブルー10% (下地シルバーの上に)

